

SPRING 9

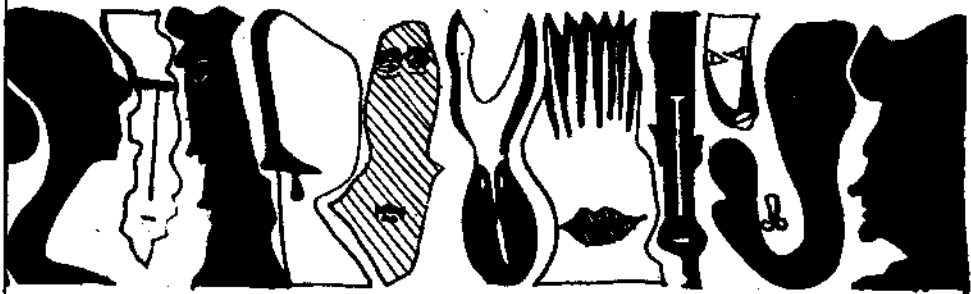
大手前高校自治会

君は今、何を目的として高校生活を送っているのか。誰しも一度はこの問題を考えたであろう。

その時、君は明確な解答を得ることができたか。ひとりよがりな理由をあげて、現実のいろいろな問題に対しては目をつぶってしまっているのではないだろうか。

君一人が高校生ではないのだ。悲しい時には慰めてくれる友が、問題があれば互いに議論する友がいるのだ。スプリングは、そのような大手前生の友達になりたいと、言っている。





スプリング第九号目次

本部だより

「自治会を考える」

後期副会長

曲人

伸 4

論説

「最も身近な問題を!!」
(自治会活動について)

小川 三知郎 6

「雑感」

吉田 健児 7

クラス紹介

9

先生紹介

22

クラブ紹介

29

文化系クラブ

29

運動系クラブ

36

文芸作品

時

43

「影」

紫磨 比呂志 43

「晩秋の葬送」

紫磨 比呂志 44

ノート「小さき泉」より

島本 博司 45

「微笑」

木原 佐源 46

「吐息」

木原 佐源 47

「ちぎれ雲」

酒井 肇 47

「道」

酒井 肇 48

座談会

「学生運動について」

49

アンケート

「大手前高校生」

51

編集後記

56

表紙 豊蔵洋一

カット 寺林進



『自治会を考える』

副会長、曲人伸

自治会とは何か？ いったい何のために、我々に自治会活動が与えられているのだろう？

「自治会とは生徒に学校における一部の自主的運営を行なわせ、社会に出るため、社会人としての自主性を養うためにもうけられたもの。」と言うのがだいたいの定義であり、このことが文部省の学督指導要領で定められているのである。

今、我々がここでこの自治会の定義を否定するか、しないかは後で語るとして、一応この定義を根底に自治会活動を考え行なうとして我々の現在の自治会を考えて見よう。

我々の現在の自治会はまさに崩壊寸前である。我々の主体性、自主性を養うなんてことは、とうていできないのである。現在の自治会はただクラブの資金集めの道具としてのみの活動しかしていないのではないだろうか？

(私は決してクラブを非難しているのではない。ただ自治会活動のうちクラブだけしか盛んに活動していないのを嘆いているのである。) として一般会員(クラブ員も含める)からはまったく縁遠い、関係のないものとなっていないのではないだろうか。我々は本来の定義を考えるならばこの自治会をもう一度、一般会員と密接に結びついた自治会、学校の問題をできるだけ自主的に解決し、学校における人間のつながりをより一層増すような自治会をつく

らねばならないのではないだろうか。では現在の自治会活動の停滞の原因はなにだろうか？ 第一に考えられるのが会員の自治会に対する無関心なのである。そして必然的に一体「なぜ」我々は自治会に対して無関心なのであるかという従来からいわれて来た問題がおこってくるのである。

ここで我々がただ自治会に対しての無関心のみを問題にし、これを解決しようとしても不可能である。なぜなら自治会とは我々学校の諸問題を解決し我々の学校生活をより有意義なものとして改良していく過程にこそ意義があるのであって、それ自体ではまったく無意味なものだからである。

従って我々が自治会に対して無関心である問題に対決し、自治会に対する関心をとりもどすには、当然別の学校内の実体のある問題が必要になってくるのである。またその問題を各個人が深く認識しなければならぬのである。そしてその実体のある問題が深刻であ

ればあるほど自治会の必要性が増し、自治会に対する関心が増すのではないのでしょうか？

私が今までこの紙上で語ってきたことを要約すれば、即ち次のようなことである。「自治会活動が現在崩壊寸前であるのは我々の実体のある問題が、われわれの関心のある問題が校内になつたためか？ あるいは、このような問題はあが我々がそれを深く認識していないかのどちらかである」ということである。

では大手前自治会についてはこのうちどちらが原因としてあげられるのだろうか。残念なことなのだが、私はどちらが原因なのかはまだわからない。しかしこの二つの原因を解決するためには私は私なりに一応考えているのである。

まず前者の原因に対する解決策であるが、卒直に言って、これを解決するには我々の現在の自治会をもう一度根本的に考えなおさねばならないのでは

ないか、なぜなら現在の自治会はもろ文部省で定められたものであり、活動も必然的に学校の統制を受けるものであり、限界があるからである。

その限界と言うのは具体的に言えば政治問題などに立ち入ることができないことなどが上げられる。ところが現在の高校生がかかえている問題といえは、まず第一に心に不安を感じるのが受験体制であり、これをつきつめればもちろん現在の教育体制、強いては社会体制、経済体制にまで発展しうるものである。第二は平和に関する問題である。これは良心のある人間としては考えずにはおられない問題であり、我々自身に関しても生死にかかわる重大問題である。この問題も明らかに安保体制、沖縄問題を考えずには成り立たない問題である。なぜこのような問題を我々

がかかえるようになったかと言えはマスコミなどの発展のため、我々の見る目が従来よりまったく広くなり、このような問題が実際、我々にとって大切

な問題であることを認識して来たからではないでしょうか。

要するに我々が考えねばならない問題というのが以前より広くなり、変化してきたのである。ところが現在の自治会には前にも述べたような限界が存在するのである。従って我々が現在我々の問題を解決するには現在の限界を乗り越えねばならないのではないだろうか？

では後者の原因即ち問題はあるが我々がそれを認識していないということに対してはどうすればよいだろうか？ そのためには我々全員全員による会員の自治会総年間計画の如きものを作ってみてはどうだろうか？ そのことによって我々全員が現在の学校生活における問題や、状況を確実に把握することができ、問題解決のための話し合いや積極的活動が行なわれ、われわれの自治活動が一步一步着実に進んで行くのではないのでしょうか？

最も身近な問題を！

(自治会活動について)

小川 三知郎

現在私達は「三年間我慢しろ。大学に入れば四年間は遊べるじゃないか。」「クラスの友達とは互いにいがみ合え。その方がよく勉強する。」というこゝろに代表される味気ない高校生活を送っている。そして、いろいろ悩み苦しんでいる。ところが、その中で自治会は「無用の長物」として忘れ去られ逆

く。また、クラブ活動を一生懸命にやったり、詩などつくったりして、自治会活動に関心を示さない人も多くいる。けれど、人間は出現した時から社会的動物であり、人間が生まれるのに決定的役割を果たした労働において原始の時代から協力、団結が何より大切だった。今までも、多くの仲間と心を一つに合わせ、力を一つに合わせるこゝろが一番、しかもほんとうに楽しいことではないだろうか。「自分のことには口を出さない。その代り他人のことは口を出さない。」という個人主義的な考え方で、あまりに寂しいつまらない人間になってしまう。

は、クラブなどで友達を作ればいいのか、自治会はいらないのかということになる。第一、本来クラブ活動は自治会活動の一部として存在しなければならぬのだ。しかし、現実にはクラブ活動は自治会活動全体から切り離され、ごく一部の同好の士の集まりとなり、学校全体の生徒とは無関係になり、学校全体の生徒とは無関係にな

一部の人々の言うように、空虚な言葉の羅列のために自治会はあるのではないし、今までの執行部のように漫然と定例行事をするだけでもいけないと思

う。最後に具体的な例を二、三あげる。一、執行部は積極的にクラスを訪問すると

とか、各学年ごとに学級代表を集めて中心的な活動家をつくるように努力する。執行部が「現社会体制では何をしても無駄だ」などと言ってはどうも仕方がない。

二、校内大会運営を全面的に自治会がする。先生に召集されているようでは何のために校内大会をするかわからない。練習期間を設けるとか、専門クラブの部員が指導するとか、みんなで盛り上げるようすべきだ。

三、H・R活動をもっと活発に。そのために各学年ごとに「学年委員会」を設け、学年内での横の結びつきを強め、L・H・Rの使い方も話し合

ってより有効に使う。複数クラスで合併討論などもする

四、成績や勉強、人生論等々などほんとうに生の悩みを自治会、H・Rで取り上げるようにする。個々の授業内容、先生の生徒の扱い、指導方針

こんな身近な、ほんとうに身近な問題を取り上げることが必要だと思

う。まだまだすることはあると思う。そういう地味な努力を積み重ねるうちに

自主的に民主的な学校生活をつくりだせるのではないだろうか。

大きな大きな障害はあるだろうかけれど

くやしい事も、悲しい事も、おもしろくない事も、それはそれぞれに多く

雑感

吉田 健児

わぬほやけた感じになってしまう。僕の送っている日常生活というのはそんな感じのものなのだ。

なんといっても忙しすぎるのかも知れない。それも気分的に。勉強という点でのあせりもある。自分にもっていた信頼がつい消え去り、しかもそのかわりになる權威を自分のうちにもてなかつた事もある。あるいは、こんな事をくどくど思う。そんな雰囲気がある

のかもしれないと思うこともある。友人がないというのは何といっても確かなことだ。真の友情はたぶん僕の青春とは無縁だろう。仲間達というのは、



言葉では否定できても、実感としてやはり僕の上に重くくしかかる。そして、それでもやはり僕はその中に僕と同じ仲間達を見いだすのだ。連帯を求めないではいられない仲間達を。彼等が真実の敵でない事はよくわかっている。我々は引きさかされている。敵となるようにさせられている。それを理解する事はできても、僕はやはり彼等を友とする事はなかった。しかたがないといってしまう事はできない。僕は自分が現在の生活に、自分の心を抑圧して耐えている事を知っている。そしてそれが、もはやたえられないほどの一線に近づくつあることも。ストレスを解消するための僕の行動はたとえはパチンコや、麻雀や、そういうた刺戟への関心は、わかりきった事だが根本的な解決にはならない。みんながそうなのだとしたら、何故こんなふうな他人をけおとさねば成功といえないような競争を許しておくのか。

い、我々の闘争は、権力への意志のぶつかりあいではなく、他者を支配したいという意識そのものなのだ。そのような関係は、不健康で、いやらしくサディスティックな人間関係といえるだろう。「現代社会の下部構造が、そのような人間関係を要請しているのだから、それをうちたおさねばならない」というのは、たしかにそのとおりだと思う。しかしながら現在の革命的諸派の中に見られる自己絶対化を考えると、彼等の言う現在を打破した後の状況というものにも大きな不安を抱かざるをえない。革命の過渡期においては、ある程度の充実を得られるかもしれないが、その後の安定の中で、再び現在の我々と同じような青春が、明日の若者達のものとなるのではないかと思うのだ。

忘れられてはならない事だと思ふ。自由という問題については、本校は比較的的自由になりうる。ただ、その自由について話し合ったり、助けあったりする人間的なつながりはない。組織としての学校が我々に与える自由とはそんなものだ。どうすればいいのかわからない。満足することができない。どうすれば満足するのかすらもわからない。いろんな難問がかさなる。そしてどうすればいいのかわからない。

精神的孤独という言葉がある。こんなことを考えているよりも勉強しろ、みろ、あいつは、もうあんなに先へ進んでいる。こんな事で悩むのは無意味だ。お前にはどうする事もできないだろう。どこかでそんな声もする。今はバカにしてはいるが、案外大きな力をもった響きかもしれない。そのうちに私が考える事をやめたら、少しは幸福になれるだろう。私はもう疲れてきたようだ。

カチ文 紹介

三年生を除く一年と二年の十八クラスにクラス紹介を書いてもらった。短い文章の中では、そのクラスの紹介を十分できなかった所もあるかもしれない。しかし、卒業した後、高校時代をふりかえる時、一つの思い出となるであろう。また新一年の諸君には、次の「先生紹介」と共に、まだ全てが未知である大手前高校を知る参考にしていただきたい。

一年一組

一組は団結が強いのか、遊ぶことに関して暗黙の了解のうちに決まる。だから日曜だって定期までにほとんど全員が顔をそろえる。概して一組は協

力的なのである。日・日委員会などではいくら定期を決めておいても、またもちまへの協力を発揮し、申しあわせたように大半が遅刻寸前に登校する。まじめに二・三人は一組では変わり者ということになる。そんなすばらしいクラスだからバレーボール大会では2年、3年に圧勝して全校で二位になり注目をあびた。以後校内合唱大会サッカー大会では謙譲の美徳の精神を発揮し、爪をかくしつづけている。運動会でも余裕をみせて第一線から退くことにした。その一組を分析するとずいぶんいろんな者がいる。先生の言葉を守歌がわりにするのを日課にしてる者や、休憩時間ごとに食堂へ行く者(参加することに意義があるので、筆者も両者の仲間入りをさせてもらっている)その他：書きつくせそうもない。勿論弁当なんかは一時間目が終わった。ただわき目もふらずに食いつづける。でも四月はこんなはずでなかった。筆者のおかずにきゅうりが入っ

ていて、それを食うとカリカリと教室中にこたましたのを記憶している。最初のうちはクラスの女子がみんなきれいに見えた。下駄箱の上ばきとわらじをすりかえられるなんて、この純情な心にどうして想像できようか。「ああ、オレはだまされていたんだ」今、筆者はあきらめの境地に達して、黙々と一組へ登校しているのである。

一年一組



我クラスの特徴を述べよう。朝一遅刻が多い。授業中(特に四、五時限)一居眠りが多い。第四時限の前の休憩時間一早弁が多い。自習時間一やまましい。こう並べると、ほめられるような事はないようだが、もちろん長所もある。ある先生によると、二組は学業成績優秀であるらしいし、今までの校内大会や、自治会祭には、その出来不出来はどうとしてすべて参加した。

学年機関紙もなんとか、まともな物が出来上った。また、クラスの一人一人をとってみても、個性的な人ばかりで休憩時間には、ユーモアもたびたび出て、笑わされる事がしょっちゅうである。

ところで、我々のクラスでよく討論される問題は、といえば、クラスのまとまりの悪い事をどうするか、という事である。特に、男女の仲がしっくりいっていないらしい。しかし別に仲が悪いというわけではなく、皆お上品な人ばかりなのでヘズカンがっているのだそうである。ところが不思議なことにスポーツ大会や、自治会祭のオバケ屋敷造りなんかの時は、みんなが一丸となってという感じがあった。終つてしまつと、なんとなくバラバラであつたが、やはり、まとまりの悪いという事が、我々クラス最大の欠点である。といつても結構みんな楽しそうだし、それぞれにうまくやっているようだ。それにこの頃では、ストロップの石

炭に火がつけられないで困っている女子を男子が助けてあげたり、バスケット大会で男女がそれぞれの試合に勝つたことを祝う文章を黒板に書き合つたりするような事があつて、だんだん欠点も直つてきているようだ。

学年末まであと二カ月。大阪城を見わたせて、冬に特別冷たい風が吹きこんでくるこの三〇八番教室で、我々は増々このクラスを楽しい物にし、青春の思い出のページを飾ろうと努力しているのである。



一年三組

朝八時二十五分ガラツと入口の戸を開けると、何という事か！みんなが着席して、各々その日の予習に余念がない。ヤーナ感じ、そう思ったのも一年近く昔、今では八時三十分過ぎ、担任の〇〇こと片山先生のH・Rに不幸にも間に合わぬ者数名、こんな事を書い

ていたのでは、三組の紹介にはとてもならぬと思う。けれどさて書くとなると思いあたる節は、あまりない。N先生をして「先生を長い間やってきたが、こんなよく笑うクラスは始めてや」と言わしめる程皆よく笑い、〇先生をして「もう数学勉強せんでもええ」と言わしめる程よく？出来（これは疑うべき）る。そして五月の自治会祭には仮装行列をやり、男子サッカー一年生優勝、コーラス大会予選七位（全校で）など先ず先ずの活躍ぶりであるがその中に何か足りない者のあつた事は否定出来ないと思う。団結を叫びながら、団結出来ずに、失敗に終つたコーラス大会本選。などにそれがあらわれている。みんな個人々々の生活が忙がしすぎたのかも知れない。それぞれをお互いが、あまり知っていない様な気もする。ともかく、このクラスは一見ごく普通の、クラスであるという事である。

一年四組

学年機関誌の編集の際に、四組のクラスカラーをそれぞれ書いてみたが、「緑」というのが最も多かつたようである。緑が「どこにでもありそうである。緑にはなく。」「冷たさときびしさを内に秘めた健康色」と定義したら、まさに四組はこのようなクラスであると考えるのは、他を知らないひいき目であるか。スポーツをしている人が多く、学問や政治に対する考え方がまじめな良識派が多く、なんとなくお行儀のよいクラス、しかられたことのほとんどないクラス。裏をかえせば、少し憶病なクラス。

クラスメイトなどで一人ずつをよく見ると、実に個性的な人ばかりなのに全体的にはそんな雰囲気になつてしまふのは、個人主義的で自分をありのままにすることが少ない人が多いからかもしれない。みんなあたりがよく大人なのだと感じる。これは大手前全体の

傾向かもしれないが。

クラスで大切なことは「仲間である」という意識を全員が持つことだと思ふ。そんなクラスは外からみてつまらなさそうでも、クラスの者は、いいクラスだと感じるに違いない。よく他のクラスの人達に「勉強ばかりやってるみたいなクラスやなあ。」といわれるが「仲間意識」は大なり小なりみんなが持っていると思ふ。だから、たとえ内に利己的なものをふくんでいようとも、このめまぐるしい一年間をともに成長してきた48人はいつどこで会つても「ヤアノ」と肩をたたきあえるような「仲間」であつてほしいと思ふ。

一年五組



体制従属者（現体制肯定）
性格異常
反政府論者（反体制論者）

若干
五

勉強の昆虫
恋人所有者
青年革命家
山男
ソフトボール部
七（全員レギュラー）
カップ速
未熟主婦連
大根
「平凡」希望者、維持者
その他（うれしがり）
若干
？
？
一
五
多数
多数
豊富
多数
おおぜい

以上がわが一の五の分類である。全体として大手前のクラスの基準「平凡」を守っている。そして英語の先生から非難声明を浴びるのも「一の五」である。

対人関係では個人主義が強い。他人に干渉せず、干渉されず、自分の「替」を守る。理由はその人の人格を尊重してとか……。だからクラスとしての団結力に欠けるのは当然のことである。去年の末にクラスを6グループに分けた。その時、多くの人が消極的だつ

た。現在、グループ・ノートを書き回して
なんとか活動している。が、それとは
別にクラスのある人間が静かにクラス
ノートを回しだした。なんと、それは
順番通りに全員が執筆している。小さ
なことだが、一の五には裏の関係があ
る。すなわち、全体としてはダメ。し
かし個人としては最高級品なのである。

◆ 討論会をする。男子が議論の場を占
領する。けど、それは一部の現体制育
定者と否定者と中間の者だけである。
女子は大いなる沈黙を続ける。休み時
間にも少数の者が議論するが、他の者
はしらん顔。一度だけ、みんな注目し
た時があった。その時はとなりの教室
で授業中の先生までを注目させた。

◆ オカタイ話あまり好まれない。み
んな、クラブに恋にと多忙なのだ。そ
うでないなら現代高校生気質をばっち
り表現している。アンケートをすれば
こちで用意したような結果がでてく
るんだが……

休み時間、女どもの戯れが急流の如

く流れ、男どもは将棋に熱中し、時が
変れば予習に専念する。まさに主体性
がない。自治会のことにしても、不満
はもっているが発言しない。

では府庁で弁当食べる会等々……
現在、自治会祭・文化祭問題でもめ
ているようだが、我が一六は自治会
祭に参加したのだ。(何でもやってみ
なきゃあわからねえ)一六のブレ
ーンを総結集して製作されたコンピュ
ーターは割と好評で、クラス展示で三
位。なおコンピュータはその後某高校
のある文科系クラブに売り渡されたは
ずだ(すなわち、大手前の美術クラブ
に創作材料として)また、コーラ

一年六組



◆ なに、一六を一枚半で語れだど？
たわけたことをぬかすな。も少しどな
いかならんの？あ、そう。ホナシやな
いから一発やりまっさ。エー、我がク
ラスを一口で表現すると、ユニークで
おもしろくてやかましい。だいたい会
長からして、どんくさいのが一人でず
っと引き受けていて、その彼は又、ク
ラスのモロモロの研究会(将研、チュ
ス研、チェッ研、仏語研等)の会長に
もおさまっている。その他、まだまだ
いろいろな会があって、みなで走るう
会、大阪弁を守る会、変わったところ

ス大会では決勝で四位、(女子どもは
文化祭に出られないとわめき、男子は
これでもうあの指揮者(女子)の顔を
見なくてすむかとひと安心(なお、審
査員の一部は帰りに襲われたというう
わさ)しかし残念なことに、運動の方
ではおおむね一・二回戦で謙謙の美德
を何とやら、頭は中位で、クラスの上
位はみなサルどもが独占してはる。
三学期になってやっとな班活動などや
り出したというけつたいなクラスでし
た。おちまい。

一年七組

◆ この集団をもし学級と呼ぶことが
できるのでしたら、いやそれは全く
「ハレハレクラス」ということにな
りましょう。

◆ なにしろ一年生最初の校外教授に
破廉恥にもバカでかい「学校旗」を
作って持って行った奴がおりました、
それがみんなの潜在意識に作用した
らしく、全員気違いの気を帯びてし
まいました。

◆ けれどもみんなニコニコ元気なよ
い子。さきわめて楽しいクラスです。

◆ それに学習以外の活動にも意欲的
で、二学期には詞集「シーラカンス」
を発行。現在、ラジオドラマを製作
中です。

◆ しかしここで忘れてはならないの
は、そういった環境の中で自己の存
在をも主張できず、みんなの意識の
下にすっかり沈んでしまった人達が
いるのではないかということだ。

◆ それに男女間の話し合いも、あま
りなされていなかったように思いま
す。い今だ口をきいたことのない人
達がいるということも考えものです。

◆ しかし一般的に言えば、やはりい
いクラスだったということになりま
しょう。

◆ なお、余談になりますが、教室の
前に飾ってある表彰状(体育大会二
位、ハンドボール大会二位)はほと
んどすべて、女子の力によって勝ち
得られたものなのです。いほら、こ
こにも「女性上位時代」のおとづれ
が……



一年八組

◆ ジャージャー、一八ぐらいの形容詞
を有する我がクラスを紹介しよう。

◆ 一年八組、担任稲川正義先生、総勢
四十七士、一口でいうと「明るく、活
発な」、一口つけ加えると「ガサガサ

一人一人をながむれば、天満橋から
マラソンしてくる八時四十分の男。講
義に忙しいセクソロジの權威、また、
ある先生のことばに反抗しようとヤッ
キの女子連、それに音楽、政治、ガ
ーラント、バカ話、文学、各方面の自
称プロフェッショナルと、顔もふくめ
て八組とわかる個性的な魅力にあふれ
ている。

◆ こんな行動派の連中を飼育していな
がら、我がクラスは対抗試合にはアカ
ンノデスヨ。一回戦には、顔の威嚇
でなんとか勝つが、二回戦になると試
合後の満足感をひたすら求め(カッコ
イイ)相手の手間を省くのにしきりに
努力している。最高の成績が筆者不参

加のコーラス大会での入賞とは皮肉な
かきりである。

個性的といっても、ガイコツの骨の
ようにバラバラというわけではない。
一学期の「カバン抱えた渡り鳥(イキ
ナナ)」の放浪生活が終つてから、そ
の骨がマリオネットみたいに糸で動く
ようになってきた。大手前では、かな
りまとまってる方だと思ふ。

とにかく高校生活の半、いや半をこ
のクラスで過ごしてよかつた、他の
人も僕と同じ気持ちでいてほしい。

そして、もう一度静かにこのクラスの
ことを考えなおして、明日の自分のた
めの、次の段階のクラスへの手みやげ
にしたいものである。

一年九組



すばりいって我々のクラスは、最も
典型的な大手前のクラスである。例え
ば朝、始業までの数分間は必死で予習
六時限が終れば、必死で帰宅する。こ

れはすべて試験のせいである。だから
といって我々の組が成績優秀だとい
うのではない。ある先生にはすで見放
され、メガネの奥からさげすみの視線
が送られてくる事もよくある。しかし
事英語に関しては、我々は誇りを持っ
ている。特に暗誦では「一年九組」こ
こにあり、だが数学などの出来の悪い
九組が英語だけはよくできるというの
で我が担任は職員室で疑いの目でみら
れているそうだ。彼は英語の教師であ
る。

では九組の歴史をふり返ってみよう。
入学式の日 いい気になって僕ら
に、先生は退学という制度があること
を知らした。

自治会祭は本部の圧力に屈せず不参
加。バレーボール大会敗退。コーラス
大会予選で失格、アチーフテスト80番
以内には5人はいる。サッカー大会決勝
進出。これは日君の指導による所が多
い。十二月楽しかったクリスマスパー
ティ、一月悪かったアチーフ。
我々のクラスには、個性のある人物

は少ないがそれでも、「生き辞引」と呼
ばれる秀才、皆が恐れる魔女リカさん
に相談を持ちこむI君、音読中に声の
高さが変るK君、つうに推されるO君、
有名な我々の担任について触れてみよ
う。背は高く、足は長く、気は長く、
大手前生の憧れの的である(ゴマすっ
ちゃった)とに角我々には親切で、立
派でよき先生である。

最後に一年間をふりかえってみて言
える事は受験が大きな影となって我々
の行動を妨害しているように思う。
サヨナラ
(最後にこれは、発狂寸前の誇大盲想
狂の目を通してのみなので、御了解を
ねがいます。)

二年一組

「二ノ一に、美男美女あまた候えば、
全校生徒、先生諸子方の注意一心に集
めたり」

異本徒然草・第八百段

生徒某一愈々今年も余すところ後
幾許となつてしまつたが、君の眼から
覗いたわがクラスの評価は、果して何点
位だつたらうか。

教室一僕は、そんな計算はしないん
だ。如何にあれ、やはりこの一年間、
僕の体内で生活してきた以上、点数
で君達を評価する様な割り切つた気持
ちにはなれないよ。たゞこれだけは言
える。今日の日本の高校の平均的なク
ラスだつたとね。良い意味か、悪い意
味かは君達の判断次第だ。

生一クラスとしては、割合まとまっ
ていたのではない。校内行事も一応全
部参加したし。

教一クラスがまとまってる、とい
う言葉の意味は、取立てて言う程の事
件がなかつたという事と違ふよ。皆な
が、クラスの事を何程考えていたか、
偶々同じクラスになった、といった類
の無関心な生徒がいなかつたかどうか、
それが肝心だよ。校内行事にしても、

出場する者のみ一生懸命で、後の者は
知らん顔、なんて悲しむべきことには
ならなかつた。

生一(沈黙)

教一それに、多くの校内行事に毎回
根気よく出場しながら、男女共々謙讓
の美德を發揮しすぎて、一度も入賞し
なかつたなんて、僕は肩身が狭かつた
よ。

生一それを言われると面目ない。

教一君達は、本当はともいひ人間
なんだ。たゞ、現在の出鱈目な社会情
勢の下で、わざと自分を殺しているの
だ。でも、将来の世界を担う若者なら、
笑いたい時には大声で笑い、泣きたい
時には大声で泣く、といったもつと自
由にのびのびと育つて欲しいな。

生一最後に、弁解みたいだが、僕自
身は、この一年間随分楽しく過ごさせ
てもらつたし、愉快で明るい仲間にも
たしかに恵まれていたのだから、それ
等の存在も認めて欲しいな。

追試一一生に一度の高校の修学旅行を、
皆なで思い出深いものにしようよな。
(訂正一追試は追伸の誤まりでした。
つい常々念頭に浮かんでる事なので
お詫びの程)

二年二組



別館の廊下をつきあたると、そこは
ストロブも効かない雪組だつた。これ
ぞ我が二年二年、構成人員は、本ダヌ
キ一匹、足のグツト長いハンサムポー
イ32名、グツとしとやかなムジナのよ
うなブリティガール18名。このクラス、
休み時間はやかましいけれど、いざ授
業になると葬式のように静かになつて
しまう。いわゆるムツツリスケベエ型
のクラスである。

しかし、一人一人を見て行くと、風
変りなのが多い。岩下志麻に夢中の野
郎、テストの途中で出て行くのを趣味
としている男、すぐ考えこむクセのあ

るヤツ、変なアダム名をつけて喜んで
る體しがり、体重を50貫以内にしよ
うと必死になっている女子etc. こんなの
がグループになって、より集っている
ので、バラバラな面も多少あるけれど
まとまるべき時は不思議にまとまって
いる。何かワケのわからないクラスだ。

校内大会においては、そのよい面を
十二分に発揮して、サッカー大会優勝
をはじめ、バレーボール、水泳、体育
祭、コーラス大会にも、素晴らしい成績
を収めた。特に体育祭の二人三脚にお
いては、圧倒的な速さを示した。男女
共に、相手からはやく離れたかった為
だというウワサもチラホラあったよう
だが：

また、クリスマス大会でも、笑いこ
らけて楽しく遊んだ。

しかし非常に残念なことが一つある。
それは男女の間のキョリがあきすぎた
ということだ。他の事はどうでもい
けれど、これだけは、皆あきらめきれ
ないようだ。今では、大分ましになっ

てきているので、これから期待する
よりほか仕方がないだろう。

違った意見もママあるが、この一点
を除いては、おとなしすぎるくらいは
あるが、だいたい、いい線いって
とボクは思っている。

アー我々が二年二組！

二年三組



クラスのまとまりとか何とか言っ
ている暇があったら、みんなゲームで
もして、遊んでやれーというのが、こ
のちよっとした五十人ほどの団体の隠
すところのない意見だろう。

もし、まとまった意見というものが
き得るとしたのなら、五十人にほどを付
けたのには理由がある。確かに指を折
り折り一人一人を当っていくと、五十
人いる。しかしこの団体の持つ雰囲気
は「五十人」と言い切ることを許して
くれないらしい。五十人いても五十人

ほどと言うのが、ここにはあっている
のだ。

ボウフラがわいたこの消火用水のコ
ンクリートの箱には、今にも消えかか
った「大手前高校二年三組」という赤
い文字がある。水の中は様々なゴミが
浮いたり沈んだりしていて、絶えずざ
わめいている。早弁のあとの居眠りの
素や、教科書の下に文庫本を備える装
置は、なかなかの売れ行きらしく、様
々のゴミは中毒の為に変色を来してい
る。しかし、ゴミたちは、それぞれ「
表面はともかく中身は有用なのである。
」と確信しているらしい風もある。ま
た、ゴミ相互には、親愛の素が密売さ
れていることもあるようだ。

とにかく、困ったクラスではない。
仲が良いと錯覚することも不可能では
ない。

最後に、このクラスの担任という名
を持っておられるにもかかわらず、ゴ
ミ供に埋没されそうな黒田先生のお言
葉を掲げる。

「このクラスは、数学、英語、物理：
みんな平均点をはるかに下回るのです
が、二つほど上のがあります。倫理と
保健やったかな。」

二年四組

一人で原稿用紙二枚書いてやろうと
いう奴が居ないので、皆に一言ずつ書
いてもらった。以下A:::Vはそのコ
トバ。

まずA別館二階中央に位置しVその
ためA一日に30分しか太陽にお目にか
かれない(府庁ラップセ)V生徒徒数
51(♀19♂32)担任小松素彦(ボン史)

V A男性がハンサムで女性は:::V A
何をやってもサマにならないクラスV
A女子の運動神経抜群?! V A女性を真
似た奴はいたが女性らしき人はいなか
ったV A気は優しく力持ちの色男で金
のないのが多いV A頭のいい者が多い
(但し中味ではなく形)V A自分の義

務を果さないで平気でいるV A授業中
寝やすいクラスV A男子は政治面で流
行を追い、女子は少女フレンドを読む
V (男の子も読んでるよ。女子はホン
トはセブンティーン) A美人のいない
クラス(あの子以外)V (同感)男子
一同) A日本史の時間に小松ちゃん
笑わせようと最大限の努力をしてもみ
んな寝ていて反応のナイクラスV Aお
となしいクラスじやないかなV A雑然
としたクラスV A日和見的で民青的な
表面道徳的な顔をしたいやらしいやつ
らの非人間的で無意味な組織だが、中
にはいい奴もいるV などはいずれも真
実。Aサッカー部の〇〇だけがさえて
いるクラスV これはウソ。A二年も終
りに近づいたせい「カチカチ頭」が
増えたようVなのは残念。Aカッパル
が全然? なかったのは非常に不思議V
(男子が悪すぎるんだもん)女子一同)
Aダレモゲバ樺をカックヤツガイナイ
クラスV たそうだ。

A騒ぎたい時には騒いでくれ、一人で
状況なのだ。

いたい時にはほっといてくれる住みや
すいクラスV というのは一体望ましい
ことなのだろうか。Aまとまっている
V Aけっこう楽しいV というのもある
がやはりA個性が少なく少しでもクラ
スの中にいたいというものはなかっ
たV A個人々々の自分の世界に満足し
ていてV A個人主義的でV Aどちらか
といえれば陰気でクラスの中はバラバラ
V A顔はおもしろいが人間はおもしろ
くないV という方が根本的に真実らし
い。他にA腹が減った時のようなクラ
スV というのは難解だ。A何か一言書
いてくれと言われても書きたがらない
V (結講沢山の人が書いてくれましたた
よー この原稿責任者)

Aまことに結構なクラスではないか(おれがいるから)。皆バラバラのよう
でいてどこかで手を握り合っている
そう思うんだけどなあV が結論ならい
いのだがA そう思う: V の「思う」
は、モッロ、の方が適当なのが現
状況なのだ。

▲平凡なクラスVと言われそうなのクラス、或いは本校に限ったことではないのだが表面はどうであれ、本質的には人間を精神的孤獨に追いやるクラス。連帯することのない仲間達V

二年五組

落書帳の一の巻を開いてみると：「七月七日（一九六八）は何の日だか知っていますか？そう日本で一番大切な日です。日本ダービーの日ですわ！」（参院選阻止を叫ぶ全学競馬派）「へ

ンに関する哲学的考察」その哲学的価値は人間の存在なる絶対条件に立脚する。今、人間の存在を決定するものがヘソである。よってヘソは本質に先行する。何故なら実存は本質に先行し、実存の為の絶対条件はヘソの存在だから。（理論派？）「日本程自由な国が有りませうか。：：：フロ代三十二円。その自由を暴力で破壊する者と戦

この時の女生徒達の顔ときたら、いやはや小生をしてふるえあがらせたものがある。だいたいにおいて女などというものは、つつましく優しくあるべきはずのものである。しかるに：：：（ここで後のことをおそれて筆をとめる。クワバラ）さて男子はというと、容姿、才能、運動と三拍子そろったものばかり、第一勇氣がある。先生の目の前で昨夜の睡眠の不足を解消するもの、授業中に友達と世間話に花をさかせるもの等、いやはやたいした連中連である。

二年七組

勉強はというと常に学年の最低平均点を記録し、スポーツ大会においては、今だかつて上位にくい込んだ記憶をもたない。しかし個人的意見をゆるされるならば、一年のあまりに重苦しい状態から解放されたという理由があったにせよ、この一年間の長く記憶に残るであろうことは否定できないのである

最後に我々の先生について一言、おたけい。又、風流な奴も多く、中にはくたやかそうで、それでいて規律にきびし

う党、それが〇〇党です。」（〇〇党広報委員長）「『ヘノイの細道』から『恐迫の想ひ』。一月日は百代の過客にして行きかふ年もまた戦ひなり。空母の上に生涯を浮べ、黒人を捕へて老を迎ふる者は日々争ひにて戦場を住みか」とす。古人も多く戦ひに死せるあり、

二年六組

予もいずれの年よりか偏向の風にさそはれて等々」（蕉門十一哲の一人）「私の大吉たるや、丑、寅、申、エトセトラ」（第一志望靖国大社御くじ科、第二志望同善産科の乙女）

かくの如き連中。しかもそれが欲求不満の野郎供と自意識過剰のしかしナルシズムには陥りそうもない矛盾だらけの女供との和？集合。それを率いるは、ニュートンが清水丞治かとうたわれる御人。その清水式道徳教育、「教育勸語」に始まり「罪とバチ」に至るシュールリアリズム？。その為か金曜日の七時限目は「本日の御題目：：：」とくる。ところがこの連中にボールを持たせれば全学に敵なく、試験と聞いて

く、お経がうまくて、みずから亭主関白となえながら、実は非常に愛妻家の先生。では、不幸にも我々のクラスを途中からうけもった先生の労をねぎらって紹介を終る。

クラス担任のポッコリ氏こと広田氏を御存じかな。御存じの方なら「この担任ありて、このクラスあり。」と言えば、おおよそクラスの状態の見當がつくであろう。その独特なムードを書いて説明するよりむしろかしいことだが、を再建するよりむしろかしいことだが、あえて言うなら「理知的なあどけなさ」

「レモンスカッシュの味」がこのクラスそのものである。といっても、書いてある本人も、何の事やらわからぬので、読者諸君も深く考える必要はな

ても徴動だにしないから人生は楽しい。かくの如きわけのわからぬのが二年五組。



個人的には実にすばらしい人間の集り、将来著名な人物がこの中から生まれることは間違いない。だれ一人として見ても尊敬の念をかられずにはいられない。しかしそれが一たび集団となるや、彼らは沈黙と憂うつ的林と化する。これが我がクラスの特徴であろう。いや我が校全体のさけることのできない特色というべきかもしれない。とまあ最初はまじめにのべておこう。ところで我々クラスの女生徒は大愛おそろしい。この間も真実に忠実である。我々クラス唯一の美男子のいわく「この学校の女生徒は、世間のいわゆる『ブス』が多いが：：：」なる爆弾宣言にたちまち非難の声をぶつけていたが、

いるのにおいて、わざわざ、クラス紹介の為に一年間の思い出を綴ったパロディをよこしてくれた。「春はうたたね、ようよう眠うなりゆく窓ぎわ少しぬくもりで、いきりたちたる教師の淡くかすみたる。

夏はビン、課外の頃は、さらなり。授業中もなお、生徒の多くとび上がり抜きて泣くもおかし。血など流るもおかし。

秋はファイヤー、夕日の沈みてグラウンドいと暗うなるに、カプルの中庭へ行くとして三組四組、二組三組などと通り急ぐさえあわれなり。まいて腕など連らねたるが、いとむつまじく見ゆるは、いとあつし。月上がりて愛のささやき、ため息など、はた聞くべきにあらず。

冬はストーブ。餅焼きたるなど言うべきにもあらず。霜のいと白けれど停止にて、いと寒きに、火など隠し起こして石炭集め回るも、いと、ふてふて

し。昼になりてぬるく暖まりゆけば、
両目のまぶたも知らず閉じがちになり
て、眠し」全く、くだらぬ。

ともかく「クラス」というものが、
単に、授業進行の円滑化のための事務
的な五〇人の集団だけに終わらなかつたのは、確かである。少なくとも我が
クラスに限っては。実際「このクラス
に編入されたことを幸運だっただと思
うか」の問いに対して九三%の者がYE
Sと答えているのだから。

二年 八組

二年生は確かに一年生とは違ってい
た。一年生のような心の新鮮さがな
かった。学校に慣れたため、さあやるぞ
という意気どみもなく、学校を一つの
機械的生活だと感じるようになりだし
てきていた。

そんな情勢の中、わが二年八組の表
面的な結びつきは早かった。しかし、

全体として見るとみんなが一つのもの
にまとまろうとする動きはないように
見えた。しかしバラバラのように見え
ながらも、各個人の中には気がつか
ないままにクラスに対する同僚心が育
っていた。また個人個人には非常に大
きな個性があるのにそれが目だたなく、
そのために外面的に派手ではないのだ
が、そこに秘められた内面的熱意は計
りしえることができないうものとなっ
ていたのである。

体育大会クラス優勝など学校行事で

いい成績を残しているが、そんなこと
を書いてみてもこの組を表わすには
何の役にもたない。そんな表面的な
結果だけで表わせるなら、この組が大
手前創立以来の歴史的クラスであると
いわれるわけがない。その存在自体、
全くの驚異である。

でもそれは永久的に、この世界から
消えるのである。今までクラスにつ
いて考えなかった人達も、何かわけのわ
からないむなしさに陥っているかもし

二年 九組



二年九組では一人の人間に原稿をた
のむのはあまりにも無責任であるとい
う意見が圧倒的でしたので、クラスの
皆さんに少しずつ書いていただくこと
にしました。以下、アトランダムに！
▽大変明るいクラスで、そのせいかカ
ップルも多い。でも多少ふざけすぎて
不真面目なのが玉にきずである(M・
S)▽気楽でおもしろくて少し乱れた
組。(H・U)▽楽しいけどまとまり
のないクラス(金村嘉子)▽なんとも

言い様のないよいクラス(N・K)
▽奇想天外破廉恥集団(フオイクル
ほど品はよくない)(T・K)

▽みかけとは大違いの絶望のクラス
だ(H)▽楽しいクラスでした。で

も先生方にとっては扱いにくいクラ
スだったようです(滝見明子)▽一

言でいえば支離激裂のクラス。高校
ってどこも同じらしい(S)▽ルナ

チック・アンド・ルナチック(K・
O)▽本校全教諭推選・日本大怪獣

クラス(T・A)▽勉強熱心なと
てもよいクラス(M・I)▽病める

現代社会の縮図、神よ！(アキヒロ)
▽女の子は皆美人ぞろいで男がね(

K・M)▽精神分裂、バラバラ、そ
んな感じ(F・K)▽九組とは男子

と中性のクラス、9組とは三人のデ
ストロイヤーがいるところ(中木雅

雄)別名(有利原成金)一以下署名
ナシ▽学校中で一番悪いけどまと
まっているクラス▽こんなまとまり
がなくてバカが集まりみたいになク

スは大クライ▽アナキスト・マルキス
ト・快樂主義者▽大手前動物園はたの
しいよ▽スプリング読むより勉強しろ

(おわり)



せんせい紹介



岡先生

速い、速い、とにかく速い、先生の口からはとどろしり出るあのなめらかなお終、いえ、平家物語の朗読なんかその昔活躍した琵琶法師にも、まさるとも劣らないんじゃないかと思うほどです。それがまた、一年中おわりからしまいまでわたし達には、何とまあ安らかな眠りをさそう優雅な音楽に聞こえたことか。あれだけのスピードで、どうして〇〇歌に聞こえるのかと考えると、それはもう神秘という他ありません。

ところで、話はガラッとかわるけど、先生の思いやりの暖いこと。いちよつとやそつとはそこらに見あたらないものではないかと考えます。というのは、朝の日・月は一週間に一・二度は必らず来られないのです。一少しでも遅刻を出席簿につけるのをやめておくために「これを知った時のみんなの驚き、特に、遅刻常連者には、まさに神様、仏様、岡先生様といったところでした。

それにまた、何と言っても、クラスで学年機関紙を発行した時の先生の影の活躍、これなんかちよつと想像できなかっただけに、うれしき以上のものでした。とにかく、無口だけれども、思いやりのある先生、これが一年間クラスを受け持ってもらって感じる岡先生のプロフィールといつても、お世辞だとは決して誰も思わないでしょう。



小野先生

入学式の時、「電車から降りる時、乗ってくる人に押されるので、強引に押しのけて降りた。」という話をして下さった。みんな動物園へ見学に行った時、ペンギンの前に長い間いた。東大入試中止が決まった時、ある新聞で「受験生がかわいそうだ」と言っておられた、それが僕らの小野先生です。小野先生が朝、校門をくぐられるのは本鈴の鳴るころなので、僕らは何度遅刻を免れている。遅刻も遅刻しても、「もつと、はよおいでや」だ。成績が下がっても「もうちよつと、おやりください」と、全く僕らに自由にさせてくださる。しかし授業は熱心で、いつも鐘がなつてもなかなか終らない。ロングホー

ムルームの時も、色々なためになる話をして下さるし、僕らの中に積極的に入って来られる。

小野先生の意地悪なところは、授業中眠っている時はあてないが、起きるととたんにあてることだ。全くこまる。

これから小野先生に習う人は、もし眠った時は、すぐに起きずに今やっているとわかってから、おきるようにしなければいけない。

それから、たまに皮肉をおっしゃる時がある。たとえば、黒板にぼくらがした問題を見て、「ああ、これは別の教科書(トラの巻のこと)に書いてある答やな」と言いはるし、僕らが、秘かに隠し持っているトラを取り上げて計算の手間を省かれます。

しかし、目尻とズボンがちよつとさがったわれらの小野はんは、ええ先生でっせ!



片山先生

でっぶりとした体格、そしてそれにあつたおらかな性質と威厳の備わつた先生。その先生こそ、我が一年三組の担任である片山龍夫先生です。

片山先生の授業は、雑談がなして中味がつまんで、スピードは超特急なみ。しかも毎日復習予習が必要ときてはたまったものではありません。こう書く

と、先生に近寄りたいたいという感じを与えるかもしれない。しかし、ぼくたちには先生に対するそんな気持ちはありません。それどころか、先生と生徒以上の親しみを感じているのです。その原因はやはり先生のあだ名でしょう。クラスのものにかけては必ず本名で表現しません。いつも「〇〇」と呼ぶのです。もしそれが先生にきこえて



阪本先生

も決しておこられないでしょう。そういう先生の親しみやすい面にぼくらは安らぎを与えられて、リーダーの時間もそう苦にならないのです。本名で呼ばなくても、あだ名で気楽に呼べて、理解力のあるすばらしい先生。そんな先生とこの一年間をすごせたことは、一年三組全員のよるこびであつたにちがいないでしょう。

私達の学年には、学年機関紙というものがあつて、各クラス交替制でみんなが書いています。私達のクラスでも、いろいろと趣向をこらしましたが、その一つアンケートの中に阪本先生のイメージは?というものをいれたのです。結果は「幼児が圧倒的に多く、集計係、予想の事とはいいながら(?)思わず笑

い出す始末。ついには仙人まで登場しこれには一同ボカンとした感じ。みんなに受取られている先生のイメージはおよそ先生稼業とは縁のないものでした。

受持の課題は古典のようですが、我々クラスにおいては国語全部一担任だからだそうですが、日によっては三度顔をあわせる日もあり、その日はみんないささかボケーッ。しかし、しかし眠ってはなりません。「××」とあてられてしまいます。けれども、居眠りは学生の業とばかりにスヤスヤ族の多い事。ことに国語の時は多いようですがこれは如何に。

授業外の時は、いろいろとめんどうを見て下さいます。個人についてもよく御存知。また先生御自身の事については、ここに改めて紹介するまでもなく、授業中にたくさん聞かせていただけるはずでです。特に、奥さんとの間の犬も喰わぬお話についてなどは：。根っからの大阪育ちとか。そんなお話もベラベラと河内弁で。

にもかくにも、親しみにくい先生では決してありません。本名、阪本千秋。まだういういしい(?)先生でいらっしゃる。(生田)



綿谷先生

わが担任は保健体育の綿谷先生である。ワタダニと言いくいのでメンタニと言う者もいる。からだは縦にも横にも大きく声もてっかい。すべてビッグサイズだ。少年の頃体育だけしか取り柄がなく(先生談)この道三十年余、それで授業のほうもその長い経験をもとに独特なやり方をされる。先生の授業(実技の方)はむしろ運動するといふより話を聞くほうだ。なにしろ前置きが長い。自分の過去の経験や数学を使った実技理論等々。体育の



中村(元)先生

嫌いな人でもこの話を聞けば少しは興味もてるかもしれない。話も長ければ運動についても殿しい。からだを鍛える時には全力を費せというのがある。真念だ。高校にはいっても保健の授業はある。黒板の字は乱雑だが話はなかなかおもしろい。なお話の途中でよく英語が飛び出すので辞書を持って授業に行くといふ。

考え方は少し古くさいようなところもあるが、まあまあ社会の良識人生の良識を我々に教えてくださったと私は思う。

さて、スプリングのメインイベント一年六組の担任紹介とまいろう。わが組の担任、泣く子も笑う中村元一先生こと元さんの登場である。職員の間で

は「元さん」の名で親しまれているが生徒の間でも、やはり「元さん」である。これは何をかくそう、彼のもつ独特の庶民性が彼をそういう名で呼ばせるのである。元さんの特徴の一つは今あげた庶民的であるということがいえるが、それは、彼が時々やる遅刻によって証明されるのである。

年齢は他の先生と親子ぐらいの差があつて(元さんが「子」)職員の平均年齢を下げるのに非常に貢献している。この若さも元さんの特徴の一つであつて、常に向上心に燃えていて「年中無遅刻」などの目標を立てて大いに頑張っているようである。

授業中の元さんをお教えしましょう。彼は英語を教えているようである。授業中ではあまりおこらず、ひたすら自分のノルマ(過酷なノルマ?)を果そうと努力している。発音などは、やはり当時京都大学の出身者だけある。うまいかへたかはこのあたりであって面白い、自分の耳で判断する。)

自分の考えを押しつけないこと

とが、彼の教えた英語の強い生徒を英語に強くなる原因の一つである。元さんには三十年の経験などはないが、持ち前のフアイトで今の人気をつまでも持続してほしいものである。



福島先生

福島有光先生こそ我が一年七組のクラス担任である。アダムはいまだ見つかからない。我がクラスの全員は、他のどの先生にもアダム名をつける趣味は持たない。我が先生の趣味は、背は高からず低からず、そのイメージは日本化した英国紳士といふところだろうか。この福島先生は、国語の担任である。せいか、大変ていねいな言葉使いをされる。授業中、我々に問題をあてる時にも、「その次の方、いかがですか。

簡単な問題ですね。」とこられる。我々としては、先生の言葉使いに恐縮し問題には頭をかかえるばかりとなってしまう。我々がとんだ答えを発しても、すぐに違ふとは言わないで、我々の意見を尊重し、一応、その答えを検討してみよう。

「それよりは、こちらの方がいいんじゃないですか。」と言われる。

先生は、おとなしい物の言い方をする割には、言葉は、すらすらと出てくる。まるで先生は古文法の自動販売機のようにしゃべり、すべてマイペースで授業をすすめる。その単調さと、うるわしき声のために、つい睡魔にさせられるといふこともあるが：。

とにかく先生は「やさしい」という一言で表わされる。しかし、決してバカにできるような「やさしさ」ではない。それ故我々は福島先生に頭が上がらないのだ。我々がでうる、福島先生の紹介が、これだけであることを欲さないでいただきたい。



稲川先生

わが担任、稲川正義先生は数学の担当である。出身は京大宇宙物理科(いっけん土木科にも見える)であるがゆえに、惑星と女性にはくわしい。という先生も学生時代は「女学生はミルクとチョコレートで生きているものだ」と信じていらっしやっただとは、運命の神秘である。

又先生は数年前にヨーロッパを巡ってこられた。万が一、諸君らの担任にでもなられたら「男、稲川、ヨーロッパを行く」を聞いてほしい。ここでは略す。

大手前教師陣の特徴は、まず洗練された学問、教養を頭と腹いっぱいにつめこんだ抜群教授陣である、それよりまして人間がこんなに長く生きていら

れるものかと、生物的疑問を抱かずのも又一つである。その中では稲川先生はじつに若い(但し比較の問題)、といても諸君らに比べれば、いや、というほど人間をやってこられたが、まだまだである。

横太郎刈りの頭、ガラス障子の奥にひっかかる声二つの瞳、それは若さの象徴、もちろん授業も若い、テキパキした言葉、矢のようにとぶ質問とダジャレ、これらは我々に数学の数学たるゆえんをミッチリと教えこんで下さる稲川先生こそ理想的の教師像である。



平先生

Teacher "Do you know what Zaru is?" Pupil "No, we don't." Teacher "Then, I tell you what it is."

Zaru is like you it has not bottom." ここに我が一年九組の担任平正人先生の授業の一部を公開したのであるが皆さんには、この意味する所がわかりましょうか。ザルと英語の授業。我々がザルであると言えはもうおわかりのはず。それには底がない。即ち我々の頭は、ザルのように底というものがないから、どんなに知識を放り込んでも、すぐにぬけ出るといふこと、まことに婉曲なる表現なのである。これは先生のお得意の御言葉であるが、その他にも、お気に入りの列記すると次のようなのである。「乙訓郡」「一億総バクチマイナス」「エチオピア」これらはいずれも用法が非常に難しいので、我々が使用することは不可能といっても決して過言ではないだろう。注意して聞くときことに味わい深いものである。ここで平先生の性格判断をすると、と言いたいのであるが、実に複雑窮まるので、ここで述べるとは遠慮することにする。どうしてもと



佐野先生

いう方は直接当人の所まで行かれることをお勧めいたします。こう書いてくると話にくい先生であるかのように思われるかも知れないが、いやいややうして、大手前に来たからには是非、平先生のお教えを承らなければ、この学校にいる値うちがないと我々は確信しています。ほんまにええせんせやわあー。 written by Hisatsugu Shimizu



松下先生

ニックネームは「テンタ」、生徒に大変好かれている。年令は二十〇才(未知数)まだ若いさかりである。若い頃にはよく女性にもてたそうである。道を歩いていると後に先生に引かれて女性の列が出来るという。うそか本当かは想像にまかすとして、何と云っても授業がおもしろい(但し先生は声が

小さいので前の方にいる人だけだが)年令にあわず、eroticなこともいう。特にその時の笑い声がおもしろい。(ウシンッ!!という)次に自分のことばかりほめる。それも、うそまゐるだしなのである。聞いている方も本気にはしない。

佐野富士彌先生。当年とってX歳。東北大学出身で地学を教えておられる。ニックネームと言うほどセンスはないかも知れないが、みんなから「北の周極星」と言われています。(先生のなかか「出っぱ」なしなんだ)天体の授業中に、知ってか、知らないでか、「北の周極星は出っぱなしで……。」と自ら自分の事を、口に出されるおもしろい先生です。そしてことなく幼い感じがする。

最後に女性に一言、先生があまりハンサムだからといって好きになるなよ!!
なにしろ若くてハンサムだからね。じゃ、バイ!!

先生はすばらしい特技を持っておられ、地学の時間には、それをフルに利用されています。一つはコンパスなしで円を書く事で、頭を右30ほど傾けて書くあの円のすばらしい事。円の始めと終りがピタッと一致した時には、そ

れこそ、やんや、やんや大騒ぎとなり
ます。

もう一つは、プリントの字のきれいな
事です。一年間プリントばかりやらさ
れてきましたが、やる気がなくても「
やらなければ！」という気持が出て来
るほどです。（これはウソ!!でもやっ
ぱりキレイ）

佐野先生と聞いて忘れてはならない
のが、あの独特のヘヤースタイルでし
よう。後だけかり上げたような、一見
してボサボサのようでよく見てもやは
りボサボサのあの頭。すばらしいじゃ
ありませんか。

結論が出ました。やはりあのヘヤ
ースタイルが佐野先生の幼さを維持して
いるようです。



廣瀬先生

廣瀬先生、担当は国語。（酷語とい
う者の中にはいる。）

大阪大学文学部を出て、はや十年、順
調に年を食って、82才、ちょうど諸君
の倍程度である。逆に考えれば諸君ら
の2人分の知能が、あの頭につまんで
いるわけである。だから一すじ縄のへ
リクツでは通らない。

廣瀬先生は外観は決してスマートで
はない。はやくいえば、ずんぐりでっ
ぱりマメダ型である。が、先生の授業
には誠意がある。

日本語を知らない、日本文学をしら
ない、日本人を一人でも出さないとの
最高の授業である。

諸君がもし教われれば、一年で、川端文
学から、小説ジュニアのサンデーまで
一説でその神秘性「イヤラシサ」まで
をも理解できる。

先生こそ、理想的国語教師像（国語
辞典が眼鏡をぶら下げたもの）の一人
である。イワバ大手前教師陣の中のホ
ープ（タバコじゃない）である。



又先生は自治会の顧問であり、執行部
のよき相談相手でもある。だから、女
の子の悩みから、足の水虫の相談まで
一手に引きうけて下さる。
もし人生に悩み多ければ、一言でいい
それで君はまた明日への喜びがわいて
くる。
先生はそんな先生だ、といっていた
生徒がいた。



文化系クラブ

映画研究部

高校生活をクラブに入ってエンジョ
イしよう。大手前には、文化系、運動
系あわせて、三十以上のクラブがある。
そして君の入部を待っている。

次にクラブ紹介を書いてもらったが、
活動がいそがしくて(?)未提出のク
ラブもある。

しかし、間もなくクラブ紹介の演説が
ある。（講堂はサクラが満開になる?）
から、慎重に聞いて、自分に適したク
ラブを選ぶようにしてもらいたい。

「映画研究部にあらずんば大手前高校
生にあらず」という言葉を知ってる
かな? 我が高校にゴチャゴチャとあ
る文化系クラブの中でも、異彩を放っ
ているのが映画研究部。

映画研究部は映画好きな君達のクラブ、
映画を一度は自分たちの手で創ってみ
たいと思う君たちのクラブだ。映画の
スタッフが休日も返上して脚本、演出、
撮影した昨年の我々の作品「バルバロ
イ（異邦人）」は、金蘭会館が満員に
なるぐらい反響を呼んだ。さあ君達も、
我々と映画を自主制作する喜びを、共
に味わってみないか? 苦労して撮り
あげた作品がスクリーンに写った時の
満足感を君達にも、知ってもらいたい。
もちろん君達にも出演してもらおうから
覚悟すること。今年と同調機、映写機

書道部

墨が薄いと...にじむ。

春の日のそれは、町の新しい蟻が這い
出すように、夏には、水を打たれた爽
やかな夕の路を感じさせる。秋は、紙
の真白さが目にしみる季節である。
漂う香りで、墨の濃さを覚え筆をと
る。書には基本として五体（篆書・隸
書・楷書・行書・草書）がある。

篆書は古代の象形文字を毛筆で書く
もの。



そして、次に現われたのが隷書。篆書より形は整って行くのだけれど、楷書には速いといつた存在。異常に頭デッカチの子犬が、うまく走れないでブリブリ怒っている、といった風な感じがする。どんなに顔の神経の発達してない人でも、自分で書いた隷書を見れば、唇の線は波打ち、目はトロリと何かをこぼすだるう。隷書の龍イワク、「俺ガ龍ダ、他ノリュウ(豪、楷、行草書におけるリュウ)ハリユウジャナイ」

私が隷書で「龍」を書いた時、そんな風な感じがした。
つまり、私は、自己が対象となる文字との間に創造した空間における感覚の結晶が書であると考えている。
そして、自己の感覚を純粹に正しく表現しようと望む限り、技術は必要である。



大手前高校地理歴史研究クラブは、本館三階中央に部室を置いて日夜活動を続けています。部室には過去多くの先輩が残してきた大阪城多宝塔などやほかにいろいろ大きな模型が置いてあり、本校最大の部屋面積を誇る部室内も我ら部員のファイトで窮屈に思われず。活動内容は昨年の文化祭では「浄土の研究」を発表して名声を博しました。また月一度の見学会を催して、古寺仏跡や美術館などに行つて実地に調べまわつて知識をひろめています。そして機関誌「古」を発行することになっています。
皆さんの中に郷土・歴史に関心のない方はまず一人もいないでしょう。そして、興味や疑問にこたえるために地歴部は待っています。さあ地歴部員となつて趣味や才能を伸ばして人格形成につとめて下さい。一、二年の諸君に大きな期待をもつておまちしています。

私たちのクラブ E・S・S (English Speaking Society) では、英語会話 (English conversation) を中心に活動を営んでいます。具体的はその活動を述べますと、テキストを設けてそれに検討をくわえたり、ラジオ講座の英語会話を聞き、その英会話を覚えて実用できるように発展させたり、*hunting* といつて大阪城へ行き外人と英語で楽しく話し懸意になりいろいろあります。この *hunting* は日頃の各人の語学力をまた発音の正確さをそして *learning* を実地のためにしてみるには非常によい効果をあげています。

これらの活動以外にもコーラスをしたり、バレーボール、ソフトボール、サッカーなどレクリエーションを活動計画にとり入れて、クラブ員の親密をはかるようにしています。また夏休みには、*camping* を冬休みには、

Christmas party を催し、全員が楽しく過ごせるようになっていきます。そして互いの心と心をつなげるため種々の *meeting* を設けています。

それからクラブ員全員がまとまって下校するようにしています。その用途においての互いの雑談は楽しいものです。ところで、私たちのクラブ E・S・S の目的は英語の実力をのばすことだけではありません。それ以上に各人の人間関係を親密にして、りっぱな人間性を養うことに根本的な目的を有しているのです。男子も女子も互いに悩みをうちあけ、批判しあい、理解しあい各人の個性をのばす目的を有しているのです。

E・S・S は人間性を養い、すばらしい人間関係・友人関係を樹立させるため、英語という一つの言語を手段としていきます。したがって私たちの E・S・S は英語という一つの狭い範囲にとどまらず、もっと大きなクラブ活動の本質な意義すなわち、人間関係を

文芸部

育て各人の個性をのばすという目的を掲げて、それに向かつて雄々しく前進していく進歩的なクラブなのです。

僕らが生まれた時一勿論僕らはそれを知らなかった。そして僕らが僕ら自身の存在を自らそこに認めた時、僕らは、客体としての僕らをそこに見なければならなかった。

霧が拡がっている。僕らはあるいはその霧を知らない。なぜなら、霧はいつも僕らを蓋っていたので、僕らには霧が全てでしか思えず、「霧」そのものの存在など少しも分かりはしなかったからだ。

けれども霧はやはり流れていたのだから、僕らの目は、何かがそこを流れていくことを不可思議にも捉えねばならなかった。不可視が見えてくる。僕らはそれを見続けねばならない。それが僕らの始まりだった。ために

僕らは、文学へ志す者が陥りがちな文学至上主義を否定したいと思う。生がなければ文学は在り得ない。だから生はあらゆる文学よりも偉大である。けれどもまた同時に、文学はその偉大な生一般を包摂する可能性を持ち得る。

自ら創作することにおいて文学を語るのならば、文学とは、あらゆる自らの対象に対する自己との水統的な対峙であると言わねばならない。即ちそれは決して終わることのない、自己への対峙の姿勢である。勿論それは、美術においても哲学においても、あるいは音楽においても、自ら創作するという視点においては同様なことが言えるのかもしれない。僕らはここでは、あえてそのことを否定しない。そして、そのような姿勢を持ちながらも、決して表白を知らなかったために、自らの人生そのものを一冊の書物とすることしかなし得なかった男がきつと生きていたのには違いないことを肯定しなければならぬと思う。

しかし僕は、その対峙の方法として文学を選んだ。尤も、感性に起因するものは全て趣味の域を出ることができないとするならば、僕らの姿勢も単なる趣味以外の何物でもないかもしれない。けれども僕は、文学が行為の裡に持続する意志の流れを刻印し得るものと確信している。ということは反対に、文学は結局個々各々の孤立した人間の問題であって、文学における貧困な集団思考の傾き程、外にいる人間から見て奇異に感じられるものはないということである。そこにクラブとしての文芸部の限界があるとすれば、同様に文芸部の必要性は（ここ二年間部室に通い続けた者の言として）人に会えること、作品（作家）に会えること、また問題意識の契機となる何かに遭遇できるということであると思われる。

さて、僕は僕らの現在の姿勢をつくる背景にあった、そしてあり続けている文芸部という場所を大切にしたい

と知っている。今年も数人が卒業する。僕はまた新しい部員によって、その背景を拡大したいと希う。語り合う生徒の来部を期待する。

音楽部

新入生諸君、入学おめでとう。諸君はこれからどのような生活をして、三年間を本校で過ごされるおつもりですか。一般に味気なく、満たされぬ感じになりがちな高校生活を、あなたはすばらしい三年間にする事ができるのです。音楽と友情にかこまれたすばらしい日々。それこそが、灰色といわれる受験をひかえた現代の高校生活を、意味ある青春とすることです。共に歌う事の楽しさを、いまさらいうまでもありません。また歌う仲間がすばらしいです。実際、歌う事はそれだけですばらしいことです。さびしい時、悲しい時、うれしい時、歌は私達を慰め、喜びを

倍にしてくれます。そして歌う仲間達は、知らず知らずのうちに我々の真の友情と連帯を理解する事のできる仲間達なのです。

我々と共に、美と友情のハーモニーを造り出していきましょう。あなたの高校生活を充実された、すばらしい日々とするために。一度部室において下さい。本館三階クラブ長屋中最大の面積を占め、グラウンドピアノと、美人の多くいるところです。活動日は（月、水、木）ですがいつでも下さっても、誰かがいるでしょう。あなたを、新しい仲間として暖かく迎えてくれる仲間達が。



社研部

又例年通り、スプリングにクラブ紹介をのせると自治会本部から催促が来ている。又例年通り次の様に答えるしかないだろう。

たった一、二枚の原稿用紙に社研のことを全て載せるというのか。

社研は社会科学研究部の名のように社会を科学的に分析する中で、その社会の中に生きていく自分とはどんな人間であるかを自分自身の中で問いつづけている人間の集合体としてある。

そうであるがために社研について述べるといふことはその中にいる人間の過去から現在にかけて総合的に書く以外に社研を述べることは不可能だ。それをたった一、二枚で書けとは。

新入生の方には霧笛の新入生特集号で詳しく、社研について述べることにして自治会の方から最低書けということだけ書くことにして終りにする。

名称：社会科学研究部

場所：本館三階クラブ長屋奥
活動：部会 読書会 研究会

機関紙「霧笛」発行（年10回）
機関紙「新世代」

発行（年1回）

禁酒禁煙

写真部

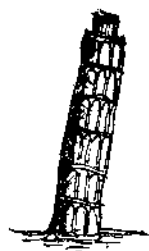
現代生活において写真のしめる割合は近年著しく上昇しています。写真は時間を止め、距離をなくし過去を再現します。我々の家庭内においてカメラは生活必需品の一つです。諸君の家のアルバムには、君達が今まで生きてきた人生がつまっているのです。

またこれからも君たちの人生をまっかしくなく記録していくでしょう。しかしその人生の通り道を記録しつづけた「カメラ」についてはどうでしょう。

フィルムは自分でいれられないで写真屋に頼んで入れてもらう。こんなことではこれからの機械文明にはついてゆ

けません。写真というものは、日々の生活のスナップから、スタジオ撮影まで幅広い芸術性を持ち、そしてその門戸は広く開かれています。そして写真術でもっとも大きい比重をしめる暗室作業を理解し、楽しんでもらうのが写真部です。薄暗い暗室の中で自分で写し、自分で現像した印画が徐々に浮かび出て来る時の感激は写真をする人のみの特権です。わが写真部はおまつなから暗室用具はそろっており、諸君の使用を待っております。写真やるのにむづかしい技術はいりません。カメラ一台もって写真部まで来れば、輝やかな未来をもった立派なカメラマンです。

どうぞ写真部へ。



新入生諸君、ようこそこの大手前へ
そしてこのツウケンへ！と言いたいも
のだ。

「世界の友と話をしよう」というのが
キャッチフレーズ。これにつられてや
って来る仲間がたくさんいるけれど、
ほんとうに入部する人は数少ない。し
かし、人数は少なくともクラブの雰囲気
は最高、それに国家試験を受けて通
ればバリバリのアマチュア無線技師、
略してハム、りっぱに電波をとばして
交信できるんだよ。もちろん世界中の
人々と。もしアフリカの人喰い人種と
お話しできたらどうだろう。ニクソン
大統領と話せるかも知れないね。君の
視野は広がるだろうね、世界旅行はで
きなくても君の声を電波にのせて、君
の夢は世界をめぐる。どうだい君も一
度入ってみないかい、きつと楽しいよ
みんな待っているよ。

ここに一つの問題が在る。
.....
それは、

僕達の眞的な空間を埋める僕達自身と
これを取巻く環境をどのように意識す
るかということ。
そして、
永遠な空間と我々の接点への永続する
独歩が自身の孤独へ、どのような意義
をもってきているのか、そして、どの
ように自身の内へ認識せねばならぬ
のか。
である。

.....
あなた方はこの白い「空白」をどのよ
うに解するでしょうか。
美術部は、あなた方の深遠な思考とア
クティブな行動をもってさらに発展し、
あなたがた自身の独歩が更に深まるこ
とを望みます。

放送部

おめでとう新入生の皆さん。どのク
ラブに入部しようかなって迷っている
君に、私達の放送部を紹介しましょう

窓を開けば中庭が、夏は涼しく、冬
暖かく、部屋は二部屋？（ドアが二つ
ありますので、とにかく）食堂には、
どこの部屋よりも一番近い、それが放
送部の部屋です。部員は只今九人。活
動はまずお昼休み、校内に音楽を流す
のです。ポピュラーや映画音楽やムー
ド音楽など、リクエストされたもので
す。そして週に一度ディスク・ショッ
キー、ほら、皆さんもラジオで聞いた
ことがあるでしょう？あれをするん
です。その際、詩の朗読をしたりしま
す。それに、金蘭会館でのレコード・
コンサート。放課後にはアナウンス練
習など。又、放送劇も予定しています。
どうですか？ さあ、君も、君も、
もう迷うことはないでしょう。音楽フ
ァンの君、機械いじりの好きな君、ア

ナウンス練習をしたいという君。マイ
クを通して、司会をしてみたいとい
う君、文化系クラブに入部するなら、ま
ず放送部へ！！

生物部

我が生物クラブでは各部員が各々研
究課題を持って、それを研究すること
を一応の方針としている。また、それ
に付随して、昼休みの部室でのおしゃ
べり、度々の採集会や観察会、合宿な
どを行なって趣味や思想を同じくする
者たちがワイワイダベツてクラブを構
成している。ここに集まる者は皆、純
粋に生物を愛する人間ばかりである。

部外者から見れば、金魚のエサ集めに
大阪城の堀のまわりを走ったり、シミ
ズが性行為を営んでいるのを見つけて
小踊りしたり、また部室では鳩が飛び
回っているのだからキチガイの集まり
と思われても仕方がない。でも、楽し
くてやめられない。

一番楽しいのは夏休みの合宿だ。
海に潜ってサザエやアワビを採る。イ
シダイをモリで突く。一先聲曰く「生
物を知るためには、まずそれを喰って
みるーン。」合宿へ行って遊んで
ばかりいるのか、と言われそうだが、
ちゃんどマトモなこともしている。
ウニの人工単位発生の実験だ。これは
徹夜作業になる。オムケ覚ましに外へ
出る。大阪ではとても見られない満天
の星・星・星。田んぼ道を歩いていて
はくは初めてホタルが空を飛ぶのを見
た。

このほか毎年の事として機関誌「
O.E.N.S.」を作成したり、大阪城のギ
ンナンを拾ってきて一略奪ではない！
食べたり……。他の文化部では到底味
わえない「イキガイ」を味わえる。
オ花の好きな男のコ、解剖の好きな女
のコ。とにかく生物の好きな人は是非
入部して欲しい。

運動系クラブ

軟式野球部

11月20日(早く言えば奇数日)の放課後、グラウンドへ出て、目をツツツと(サツとでも可)北西の隅へやると、1ヶタの人数で、棒切れ(ダバ棒ではない)を振り回し、皮の堅い球を投げ(機動隊が目標ではない)、追いかけて、又、走りまわっている(逃げていけるのではない)のがいやがおうでも見える(目を開き、雨の日でない限り)そのままズツと東の方を見ると、これまた同じくらいの人数で、同じ様なことをして喜んでいるのがある。ただし、こちらはゴム製の球である。これが我らの倶楽部「軟式野球部」だ。(イヨツ大統領)。所で何の因果か知らないけれど、本校には全学連予備軍養成に貢献するような倶楽部もある。しかし、しかしである。何と言っても

(別に何も言わなくてもよい)一番は

「軟式」。それに球扱いのむづかしいのは軟球である。それだけにまた楽しみも多し。さて話しはこれから本番に入る。まず、当クラブの歴史はと言うと(こんどは何か言う)、ほんとうは書いてある自分自身も知らない。しかし、藤井寺球場へ進出したという話もチラホラある。(どれぐらい勝てば藤井寺へ行けるかは入部すればすぐわかる。)これは実際あったことで、古い話ではない。昔のことはさておいて、最近とは言う(こんども言う)、昨年の最終試合は6-0で完封勝ち。その他のいろいろある。(入部したら詳しくわかる)。

何やかんや言ってきたが、要するに入部してもらいたいんだ。入って面白くないければ、やめればいい。本人の好き々々だ。とにかく、入部すれば、夏の大会には出場できる。練習日は奇数日(前にも言った)。友達を引連れてひやかしに来てくれた

まえ。

最後にまことに申し訳ないのだが組合費として月に70円ばかり払い込んでもらわなければならぬ。これぐらいはカレうどんの小とコロケを食べたつもりになって、こちらへ回してもらいたい。終り。

サッカー部



そう、今、日本スポーツ界をリードするヒーロー「サッカー」なのです。この数年間に名実ともにスポーツの王座にのし上がった「サッカー」なのです。

一体この「サッカー」の魅力はどこにあるのでしょうか。それは次の諸点にあるのです。

- 一、他のスポーツと違い文字通り足の裏から頭の先まで(もちろん手も使う)の全身運動である。
- 一、スピード+技術+迫力のすべてを満足する。

一、やる気さえあればたれにでも出来る。

一、世界中どこでもやっている全世界のスポーツである(競技人口は世界で10億人といわれています)

一、四季を通じいつでも出来る。これほどのスポーツが他に出来るだろうか。答はただ一つ「否」。「新一年生、ここで大きくうなずく」

さてこれで十分わかってもらえたと思う。もし君がむこう見ずの江戸っ子ならその度胸を、又君がど根性の浪速っ子ならその根性を、又君が猛烈なファイターならそのファイトを、又君がすばらしいテクニシャンならその技術を、又君(ただし女性)が世話好きの大阪ジェンヌならばマネージャーに。君達の8年間の充実感がすぐそこまで君を迎えに来ています。一年後君がグラウンドせましと走りまわっている雄姿を思い浮かべてごらん下さい。さあ思い立ったら今からでもサッカーボールと握手してみよう。

入部御希望者はグラウンドへおいで。待ってるよ。

(大手前蹴球協会)



男子バスケットボール部

「バスケットボールってどんなスポーツ?」と聞かれたら、君はどう答える? よく知ってる人は、「個人の個性を尊重し、集団の協調を生かしたすばらしいスポーツ」と答えるであろう

技術が高度になれば、なるほどむずかしいスポーツなのだ。そして世界の各地で行なわれているワールド・スポーツなのである。

新入生諸君!根性のある奴やっ来てい!背の高さなんか関係なし。もちろん(?)顔なんか関係なし。(背の低い人は、我々が手取り頭取りして伸ばしてあげるヨーン。)



おしまい

女子バスケットボール部

我らの青春バスケット。

一個のボールに思いを寄せて、後板にあてる。「はいった!!」そのとき、我らの心はずみ、胸は踊る。この瞬間のこの快感を味わうために、厳しい練習を積み重ねる。

悔いのない青春を送ろう。「青春」という漠然とした、途方もなく大きなものを、眼前に迎え、何かに全身をぶつけたくっているキミ、高校というものに大きな期待と不安を抱いているキミ。「我らのバスケット部」に加入しましょう。

「我らのバスケット部」は愉快で、ちよびり(だいぶ?)ミリキ的な女の子たちで構成されている。デッカイのおおれば、チッコイのものもある。美人もおれば、ブスもある。しかし我らの間に秘密はない。我らの間に憎しみはない。厳しい練習を乗り越えてきたもの同志だけの心のつながりがある。ガ

ツチり組んだチームワークこれこそは、我らバスケット部の誇るべきものである。練習中注意をしあうとき、「

ファイト!!」をかけあうとき、そして麻雀をするとき、我らは、ますます友情を深めて行く。

こんな仲間との練習は、厳しくとも楽しい。「しんどいなあ」という声の中に「頑張ろうな」という声がある。

そんな努力の甲斐あって「一年生大会」には西地区で、見事三位を勝ちとった実力・人気とも只今急上昇中である。運動神経なんか努力でカバー。背が低いのはジャンプ力でカバー。顔が悪

いのは：面倒見きれん。真の友はバスケット部で。自分の根性を試してみるならバスケット部で。さあ、この若さにあふれる雰囲気の中に入ってみたい人、いつでも「我らバスケット部」は、キミを、大きく胸を開いて迎えるでしょう。

女子バスケットボール部

軟式庭球部

御入学おめでとう。

あなた方は、きっと新しい未来に胸はずませてくれるのではありませんか。その未来を有意義にと考えている人へ、私は身体ごとぶつかってゆける、そんな未来にしたいかと思いませんか。

青春の喜びを思いきり味わうのです。若さ、それは、私たちの特権です。その特権を生かすのが私たちの務めです。さあ、クラブで心ゆくまでのつらさと楽しさを味わおうではありませんか。クラブは、私たちのためにあるのです。そこで若い力を心ゆくまで発散させようではありませんか。

我クラブは若さを持っている人を望みます。最後まで続ける人を望みます。つらい事もあります、それを打ち破る人が、我クラブには必要なのです。軟式テニスをやりませんか。細かい事を述べれば、練習日は原則と

して毎日行ないます。コート使用は、硬式テニスとの取りきめて一日交代になっっています。コートで出来ない時はトレーニング。

部員は、男子十八名、女子十四名
部費は 一ヶ月五〇円

私たちと共に、ボールを追って、ボールを打とうと思う人 軟庭へ。



陸上競技部

なんでもかんでもやってみよう! 苦しむことに楽しみをみいだそう! そう、自分の限界に挑戦しよう。真に大手中生となるためには、陸上競技部に入るのが不可欠だ。クーベルタンいわく、「すべては陸上競技より始まる」とにかく、クラブにきてくれたまえそうすれば、とかく単調だといわれる陸上のよさがわかる。入部の申し込み

場所は体育館前、申し込み方法、トンパン、トレジャツを着ていること。

以上、心ある人よ、この短い行間から、真の楽しみ、苦しみ、つらさをくみとってくれたまえ。

剣道部

現在我が剣道部は黄金時代にさしかかっています。まず去年の夏、大阪府剣道優勝大会に於て、前部長の前川さんがみごと個人優勝、全国大会に出場した他、団体戦(新人戦)でも二年連続ベスト16の線を保っています。

練習は、学校のある日なら毎日やっています。(金曜日自由練習)府庁から先生が指導にみえ、部員の父兄の方もよく練習に来られます。

剣道は礼に始まり礼に終わる。という言葉どうり僕たち部員17名は、礼節を重んじ、折り目正しい人格を目ざしています。どんなにはめをはずした時にも、後輩たちは先輩に対して自然な

敬語を使う事を忘れません。

剣道は力と力の戦いではありません。その証拠に小学生から七十余才の老人まであらゆる年齢の人がこのスポーツを愛好しています。どんなに体力や敏しょう性に自信のない人でも、真面目に練習すれば半年で初段になれます。

剣道部は何よりも精神力を要求します。新入生の諸君! 一度道場へ僕たちの練習を見に来ませんか? あとにもさきにもたった一度の貴重な高校時代です。剣道部で君の力を試してみませんか?

(なお部費は月一〇〇円)

女子バレーボール部

「身長一七〇cm以上、ジャンプ力七〇cm以上、運動神経抜群の部員求む!!」なんて固い事は言いません。どなたでも結構。二十一年十一人、二十二年十二人、マネージャー四人、総勢二十七人の大家族が、あなたを暖かく迎えるでしょう。

我々は、夏休みの強化訓練、冬の基礎体力づくりをポイントとし、春秋二つの部別大会を最大の目標として、練習に励んでいます。

夏、炎天下での激しいレシーブやタック、汗と土で泥だらけになりながら（この時は、女の子である事を忘れて）

冬、北風の中を、大阪城一周。サーキョット、柔軟体操、階段を 往復。「ワア、そんなにでけへん。」なんて言わないでもう少し聞いて下さい。我々の誰一人、これらを軽々とやる人はいません。みんなで励まし合って、助け合って最後まで頑張る。そんな所から、バレーボールで重要なチームワークも生まれてくるのです。

また、思いきり自分に挑戦した後、夏ならシャワーを浴びる時、冬なら冷たい風が頬にあたる時。その時の気持ち、やはり、クラブにはいったものだけが感じるこのできる満足感でしょう。あなたも、それを味わってみようとは思いませんか？そして、バレー

もしろい。スポーツを楽しむのなら、柔道をやってみるのもよいと思う。我々は、先輩達がそうであったように、後輩には暖かく指導するよう努める。柔道は他のスポーツにはない魅力がある。高校へ入ったら勉強しようと思ってる君かもしれないが、クラブ活動は決して君の学習を妨げはしない。他のクラブは知らないが、我々のクラブは決して君を失望させないと思う。柔道は精神修養の道であり、一对一の真剣な戦いであるが、また、楽しいスポーツでもあるのだ。

君が女子であるなら、マナージャーになってほしい。きつと役に立つ何かをつかめると思う。

とにかく、一度柔道部へこい！

硬式庭球部

テニス・ブレイヤールとなるためには体力的な面では、持久力、瞬発力、柔軟さ、鋭い反射神経……精神面では、

ボールを意のままにしたいとは思いませんか？。そうです、高校生活をエンジョイしたいならクラブにおはいいいなさい。そして、体を動かしたいなら、運動系のクラブへ。そしてあなたが女の子なら、女子バレーボール部へ。

練習日は月火木土。バレー部の円陣が見えるでしょう。かけ声が聞こえるでしょう。さあ、今すぐ行って、一緒に叫びましょう。

大前部 Best / All, Fight - Fight - Fight -

そう、気持ちがいいでしょう。新入部員のあなたをこれから、どんなあだ名で呼ぼうかな？

柔道部



自分が一番強いと思ってる奴は柔道部へこい。弱くてどうしようもない奴は柔道部へこい。デッカイ奴は柔道

部へこい。チッコイ奴は柔道部へこい。

柔道はカッコイイと思う奴は柔道部へこい。柔道なんて古いと思う奴は柔道部へこい。男同志の戦いをしたい奴は柔道部へこい。男が好きな女は柔道部へこい。この世で一番偉いのは自分だと思ってる奴は柔道部へこい。なぜ生きていくのかわからない奴は柔道部へこい。ひまな奴は柔道部へこい。運動不足の奴は柔道部へこい。柔道をやりたい奴は柔道部へこい。柔道を知らん奴は柔道部へこい。

柔道は決してけんかの武器ではない。柔道はガラの悪いスポーツではない。柔道は理論でわかるものではない。柔道は体で覚えるものだ。そこから何かをつかみとれるものだ。

しかし、そんな難しいことを言ってもしょうがない。君達は気楽な気持ちで来てほしい。我々は今、人数が少なからず、これは一般に柔道が誤解されているからかも知れないが、柔道は楽しいものだ。勝ってうれしい、負けてもお

登山部

男子山岳班

山へ行く。メシを食う。テントの中で花札をする。ネル。眠気を十分に持ちながらおきる。歩く。ときどきパタパタと思う。そしてまた歩く。いいものだ。何かなんともいえない気持がする。

男なら、とにかく何かやってやろうと思うなら、俺たちといっしょに歩こう。そしてメシを食おう。

ワンダーフォーゲル班

野や山を歩き、自然に親しむクラブ。ハイキングに行くような楽しさの中にも目的を達成するための、体力と精神が必要。月に一度程度、郊外へ行き、夏期には約一週間の合宿に行く。ふだんの練習は主として基礎体力づくりに励む。長い距離を歩き通し、目的を達成したときの喜びは何物にもかえ難い。根性のある者を求む。ただし、新二年のおねえちゃまたちは、すごいよ！。もちろん、無類の

BUNGEI



影よおまえは
 そんな所にいたのか
 長い間
 すっかりおまえのことを忘れてしまっていた
 ……おまえと私が友達だったのは
 あれは遠い日のこと——

長い長い一本の道
 空が 激しく燃えていたのを私は思い出す
 幼かった私と
 友達だったおまえと
 走ったり。話したり。
 電柱から電柱へと飛び跳ねたり。
 おまえは 次第に背が高くなってゆき。
 私は 次第に心細くなってゆき。
 そうして私達は
 家路を辿るのだった
 寂しく白いアスファルトの道
 橙色の太陽を背に——

影

紫 磨 比 呂 志

美女、そのうえ、頭のさえときたら：
。

スキー班

そもそもスキー班ができたのは、山岳班もワングル班も冬にはほとんど活動できないというので、冬にこそできるスキーをひまつぶしにやろうというので、やる気のない奴が集まって行くやらないかというので、できました。スキーに行きたい人、入ってくれ、ただし内容はきびしいよ。活動は9月に入ってから。

技術程度はたいへん低いので初心者でも大歓迎。合宿は冬と春。たのしいのがモットー！

女子山岳班

山へ行く。おいしい食事をつくる。小屋の中でお話をする。…男子なんかとちがって、ぐっと家庭的ムードで、おとうさん、おかあさん、おねえさんと、すばらしい御人がそるって

る。

男の子が登るんでわたしたちもとうわけではなく、わたし達は、わたし達。テントでは泊まらないけど、小屋泊りもまたよし。すばらしい女の子なら、山へ一度は登りたいと考えるもの。どうぞ、山岳女子へ！！

硬式野球部

「真夏の甲子園」野球を志す者の憧れです。我大手前硬式野球部もそのため毎日練習に励んでいます。

投げる！打つ！走る！ 広くもない運動場で他のクラブと一緒に練習していてもこのカッコイイ若者達（本人はそのつもり）のユニホーム姿のりりしさはひととき目立ちます。（その姿に憧れる女の子は数えきれないという噂もあるとかないとか）そして日生球場で学校中の応援を受け、力のかぎりブレ

ーし、勝って泣き、負けてまた泣く感
 激は高校生活の素晴らしい思い出となる
 でしょう。

残念ながら現在の野球部は特に強く
 はない。けれど平先生の指導のもと、
 チームワーク良く9名の部員はひたむ
 きに努力し、不屈の精神を養いつつ着
 実に実力を伸ばしてきています。
 ともかく百聞は一見に如かず。一度練習
 を見に来て下さい。野球部は君を必
 要としているのだ。

新入生諸君、迷うことはない。
 来たれ硬式野球部へ！！



あれから どの位の時が流れたのだろうか？

影よ おまえは
そんな所にいたのか

もの皆眠る今

とほとほと街へ迷い出た私の前に

輝く満月の下

おまえは突然

くっきりとその姿を現した

あの遠い日よりもずっと私に寄り添って。

影よ

私はもうおまえを忘れはしまい

白々とした うそ寒い道だが

この道を二人歩こう

さあ、影よ

聞いておくれ 私の話を。

晩秋の葬送

紫磨 比呂志

遠い空から

電線を鳴らして

心臓に冷い風が吹き込んで来ると

もう秋は終り。

今年も

秋は黄金色の畝を祝ったのに
僕は裸でさまよい歩き

そうして

死に損ないのゴロゴギが

乾涸びた道路の上で

車に押し潰されていったように

一年は その終焉を迎える。

今日は昨日に重なり。

明日は今日を反覆し。

沈滞した時の流れの中に

一年は埋没し

今 その葬送の列は進む

前に廻れば

さらに前を行き。

追えば

決して追い付かぬ速さで。

重々しく ゆっくりと。

意志を超え 確実に。

今 葬送の列は進む。

葬列の周囲を



裸で彷徨する僕の

身体を吹き抜けて

木枯しは

気儘に

赤い夕日の向うへ 駆けてゆく

ノート「小さき泉」より

島本 博司

(I)

燃ゆる陽を猛る嵐を降る雪を映し溢れよ小さき泉

地の底に太古の繁栄夢見つつ潜む大阿蘇迫る噴煙

山波の煙る広野に恥づかしや十数年の日々一片の雲

殿と立つ壁に劃さる教室の机上に紅き蓄積一輪

頬を寄せ語りてみるも口無しの壁は冷くありにけるかな

窓開き通れもならぬ世界より出し遣りたり蝶一つ

鳴き鳴きてただ恋ひ叫ぶ雄蟬は明日をも知らず燃えて

悔なし

赤々と燃ゆる太陽その中へ一筋白し飛行機のゆく

(II)

小さけど自ら湧ける泉かな。

董咲く徑三寸の部屋の春。

長雨やベトナムの空如何ならむ。

行き行けど夏草匂ふ山路かな。

育に白一文字を飛ぶ翼かな。

幼な児や臍のごま取る夕涼み。

遠鐘に眠り誘はる夏季補習。

古杉や地を貫きて殿しかり。

銭湯を覗きて窓に月笑ふ。

慕ひ寄る宿無し犬や秋ゆけり。

笑ひる我も寂しや日々雑談。

過ぐる日を省れば寒し除夜の鐘。

仰ぐ毎生きんと思ふ夜明かな。

微笑

木原 佐 源

「空がとっても優しく笑っているんですもの、春なのね。」

と彼女。

「今まで忘れていた花が、そろそろ頭をもたげ始めたから、春なのさ。」

と彼。

そこで二人は、互いに顔を見合わせて微笑む。

「二人の心が一つにとけ合って、

「あの凍えんだ雲を吹き飛ばし、

「ああ、こんなにも楽しいんだわ、生きているって、

「そう、こんなにも素晴らしいんだ、生きて

いるって。」

壊れやすい二人の喜びを、大人に盗られないよう、

この乗かいはべールで包んであげようね。」

今しばらく、このままそっと、時間を止めて

おいてあげようね。」

「きつと、美しすぎるわ、何もかも。」

と彼女。

「きつと、僕達若すぎるんだ。」

と彼。

だから、二人は恋をしているんだ。

いけない、いけない、

そんな余計な事をしては。

希望の花と、

歓喜の歌と、

若者の夢と、

それ以上、今の二人に何を与えると言うのか。

「やっぱり春なんだわ。」

と彼女。

「きつと、春なんだ。」

と彼。

そこで二人は、互いに顔を見合わせて微笑む。

※ ※ ※ ※ ※

吐息

木原 佐 源

お前のほんのつれない態度にも、

僕の心は、

こんなにも傷ついているというのに、

お前は何も知ろうとしないで、

たゞ僕を悲しませるのだね。」

ああ、熱い吐息のなかで、

お前の名前を

そっと呼んでみるだけで

とても幸福だというのに、

お前が僕の全てとなった日から

お前を好きになっ

いけないと言うのか。」

みる、

魂を抜かれた

あの一羽のやつれた若鳥が、

慈悲ある花の愛情を求めて

悲し気に鳴き鳴き

この索漠とした冬空を
彷徨っているではないか。

「詩」

酒 井 肇

1. 「ちぎれ雲」

青い空の中を

走っている ちぎれ雲一つ

西日をうけて

ももいろにそまった ちぎれ雲一つ

鏡の下の大地には

もうすでに

はだかの木と 毛布をかぶった土だけ

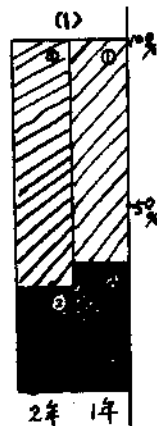
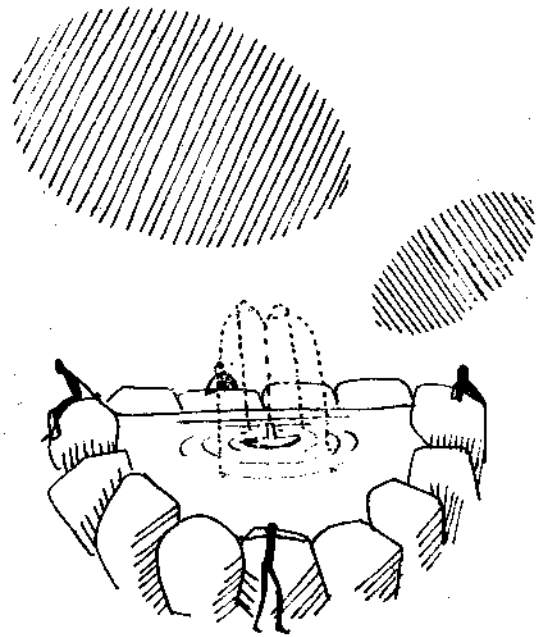
東の山の頂に

白銀の月が

北風の合唱を聞いている

マラーグラのワンス

大手前高校生



一、大手前

① 予備校化していると思うか

① イエス
② ノー

a 思われるならその理由

イ、勉強を無理におしつける

ロ、学校側も学生も勉強以外に興味をもっていない

ハ、先生が積極的にその様にす

めている
ニ、勉強、勉強のムードがあり、

高校生活の重要なものがない。

ホ、当然世風にしたがっている

② 今我々が受けている教育をどう

思いますか

イ、つめこむ一方

ロ、英数の時間が多い

ハ、不満、気にいらぬ

ニ、立身出世の用具

政治運動になるのはしかたがない。
D 教育の自由を得るために運動するのは当然だけれども、現在のいるような組織のやっつけている事は本来の目的を忘れていると思う。
たとえば今の東大では体制を破壊するためだと言って自分達の学問の場や資料を破壊するのは矛盾している。

A 学生運動の出発点は社会に対する矛盾や苦痛である。そういうものを克服するためには、反権力という闘争にまで結びついていかなければならない。

F 一つの世にも体制があり、また反体制がある。それによって世の中は進歩する。しかしその反体制の行動の過程が急激であるか、又徐々にしていくかによって意見が分かれる。

G 終戦後、教育の自由などが叫ばれたが、現在はかえって逆に反動化の道をたどっていると思う。だ

からこのままにしておくくと又後悔しなければならぬことがおこるかもしれない。それを防ぐために暴力を使うのは、ここまで追いつめられているからしかたがない。

H 教育が社会矛盾によってゆがめられているからといって、体制を根本的に改革しようとするれば、大きな抵抗がある。だから現状で、悪い所だけ中心にぶつかってゆけばよい。

E しかし政府が体制の確立のために教育を利用してはいるのだから、運動が反権力闘争へ移っていくのである。

I 現状のまま暴力闘争が行なわれるのなら、その本質は一般の者に解ってもらえない。だから全国民の支持を得るためには、学生はもっとその運動方法を考えるべきだ。
A 現象面ばかりについて述べるよりもっと自分自身について考えるべきだ。

I もっと個人の主体制を重視して、生活を分析して話し合わなければこんな座談会は無意味だと思えます。

(編集者側としてこの意見には少なからずショックを受けた。)

I こういう問題については無関心な人が多いが、「無関心」を「関心」にしようというのはなくして自分の無関心な心とは何であるかを考える必要がある。

この座談会は一月二十五日の放課後行なった。司会のまずさもあって筋が通っていないかもしれないが許していたらきたい。

なお、このあと教時間にわたって討論された部分を、記録の都合上掲載できなかったことは遺憾である。



ホ、サエナイ

へ、成績表をなくして性格表みたいなものをつくった方がよい
ト、一般教育がなされていない
チ、教育なんか受けていない。ただ教科書の解説のみ

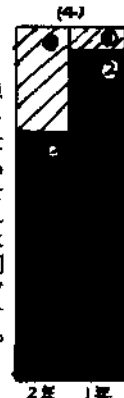
③ 我々自身のスケールを小さいと思えますか
① イエス
② ノー



a スケールの小さいと思われる理由
イ、考えることがみみっちい
ロ、度胸がない
ハ、受験のことしか考えない
ニ、点を取ることに必死になっている
ホ、自治会祭、文化祭にこだわりすぎ

へ、将来のことが気になる

④ 何か大きいことをしたいと思えますか
① イエス
② ノー



a 思うならそれは何ですか
イ、宇宙旅行
ロ、日本一周、世界一周
ハ、大手前の放火
ニ、三億円をぬすみかえす
ホ、アマゾン川流域の開発

⑤ 「どこの学校ですか」
「大手前です」
あなたがこういう返答をしたときに一瞬どういう気持ちになりますか
イ、どうも思わない
ロ、優越感、エリート意識

ハ、うれしい
ニ、ドキッ ヒヤ
ホ、はずかしい
へ、カッコイイ

⑥ 大手前高校に誇りを持っていますか
① イエス
② ノー

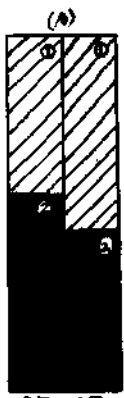


a その理由は
イ、伝統、優秀な生徒
ロ、進学率が高い
ハ、苦労して入学した
ニ、ほこりをもつ必要がある
ホ、有名

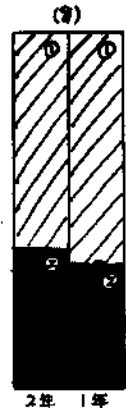
⑦ a、クラブに入っていますか
① イエス
② ノー



b クラブに入っていない人はどうしてですか
個人的にやりたいことがある
両立できない
身体がつづかない
束縛されたくない
ひまがない



⑧ a、他校生に対し少しなりとも優越感を感じますか
自分の感覚、体験
自分はこの世でただ一人
人生を生きがいのあるものにする
適用性



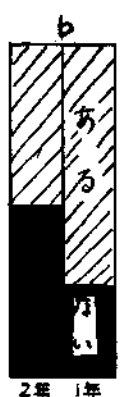
⑨ 不意にガラスを割りたくなるようなことがありますか
いかなることにしても自主性を持っていますか



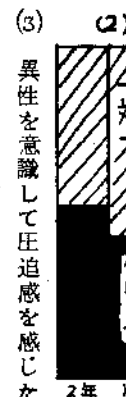
⑩ 自分に自信を持っていますか
礼儀的なもの
学校の名前に対して
勉強
品行方正
大手前の所在地
話す内容



⑪ a、異性との交際において意義を認めますか
b、そのことについてまじめに考えたことがありますか



⑫ 異性を意識して圧迫感を感じたことがありますか
非常に強く感じる
感じる
やや感じる
感じない



⑬ 非常に強く感じる
感じる
やや感じる
感じない

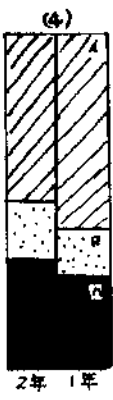


(3) 異性と話しているとき他人が来ると意識しますか

イ、話している相手による

ロ、よく感じる

ハ、気がねしない



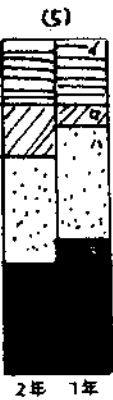
(4) 交際の相手にどのような人を選びますか

イ、可愛いORハンサムな人

ロ、容姿はいつでもよいから気の合う人

ハ、どんな人でもよいから交際したい

ニ、美しい人



(4) 自治会に関するプリントを読まない人は、なぜ読まないか

○読みにくい

○じゃまくさいから

○読んでもわからない

○クダラナイモン!

(5) 自治会はどうあるべきか

○希望をかんとんに

○もっと生徒と密着して、三派、民青と手を切るべきだ。

○もっとP・Rを!

○生徒のための生徒による自治会

○自治意識を高める

○どうも幅広い積極的な生徒と一体化したものが望まれているようだが!

(6) 社会の悪い面(公共料金の値上げetc)をよくするために署名運動などをする自治会活動をどう思うか

○賛成派

○事情をよく理解した上でのごとなら賛成



(6) 異性ととの交際は学業に悪影響を及ぼすか

イ、大いにある

ロ、あまりない

ハ、ない

(7) 男女交際の当然の規則とタブーを

○相手を尊重しよう

○公明正大 健康的

○学生らしく

○常に謙虚であること

三、自治会について

(1) あなたは自治会に関心がありますか

イ、ある

ロ、あまりない

ハ、全くない



○やればよいが、本来自治会は学校のものであることを忘れてはならない。

○それが皆の意見で正しいと思われるならやってもよいし、やるのが当然だろう

○非常にケツコウ

○自治会は校内活動だけでなく広く大衆活動を!

○結構、ただし行き過ぎは困るよ

反対派

○自治会としては望ましい姿ではない

○自治会はいくまで学校のものである

○政府の政策は絶大なものだ

○社会のことは社会人にまかせておけばよい

○それもよいがまず校内のことから以上、いろいろあるけれども無責任な答も多かったよ、もっと真剣に考えてネ

(7) もし自治会を通してもっと積極

◎関心がない人はなぜないのか

○活動の状況がよくわからない

○自治会が生徒の意見をよく反映していると思えない

○生徒との間に溝がある

○活動が消極的だから

○PRが足りない

(2) 現在の自治会の活動状況をどう思いますか

イ、盛んだ

ロ、こんなもんだろう

ハ、全くない



(3) 生徒総会でのあなたの態度は

イ、熱心にきいている

ロ、できたらサボタージュしたい

ハ、ほとんど聞いていない



的に対外試合をするとしたらどう思うか

○試合以外にも討論会等もやろう

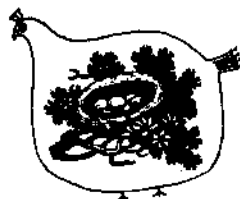
○対北野交歓などは、雨の時中止しないで、延期して実行すべきだ

○他校との交流をとおして本校の欠点をもっと見つけるべきだ。

○私立高校ともせよ。



スプリングも編まできて、少しマンネリ化してきたようだ。それを知っていたがただ、原稿を集めることに喜びを感じ、あえて改革する勇気をもたなかった編集部は責められるべきかもしれない。しかし編集方法にも問題があるのではないだろうか。例えば、編集委員は慣習によって文化委員があたっているが、これからはクラスから特別にスプリング編集委員を選んだ方がいいと思う。生徒全員の関心と協力を集めるためにも。このスプリングの読者の来年度の編集委員たち。来年は10周年記念である。編集にかかる前に十分に討論して新しいスプリングを作ってください。最後に、一般募集、他原稿を書いて下さったみなさん、表紙並びにカットを書いて下さったみなさん、ありがとうございます。



スプリング 第九号

昭和四十四年二月二十日 印刷
昭和四十四年二月二十四日 発行

非 売 品

編集者代表 耕 章

発 行 者 大手前高校自治会文化部

発行責任者 文化部顧問 小松素彦

印 刷 所 大阪市都島区都島本通
七丁目六八

KX 原 多 成 文 社

電話（九二二）五七二八番

発 行 所 大阪府立大手前高校自治会

大阪市東区大手前之町二